平成 21 年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム　採択事業

めざそう「平成の篤姫」！

ー鹿児島発社会人力養成プログラムー

報告書

鹿児島女子短期大学

はじめに

近年、若者の就職難や早期離職等が社会問題になり、その対策として産学官一体となったキャリア教育が行われてきました。にもかかわらず、平成 22 年には大学・短大の就職率が過去最低を記録したことが話題になりました。キャリア教育がまだ十分には機能しておらず、実施方法等について検討の余地があることの現れとも考えられます。

本学教養学科でも、これまでさまざまな形でのキャリア教育を行ってきましたが、平成 21 年度に「めざそう＜平成の篤姫＞！　―鹿児島発社会人力養成プログラム―」が文部科学省の「＜大学教育・学生支援推進事業＞学生支援推進プログラム」に採択されたのを受けて、既存のプログラムを改善するとともに新たな支援策を講じる取組みを実施しました。

取組の柱は、教養学科におけるキャリア教育プログラムの開発、学内支援体制の充実（教職員の資質向上・就職情報検索システムの構築)、地域連携による支援体制の確立、以上 3 点です。本書は、平成 21 年 10 月から平成 23 年 3 月までに実施した取組み内容および成果をまとめたものです。実施段階で、申請中だった「ＹＥＳプログラム」が事業仕分けにより廃止になるという予期せぬ事態に見舞われ、やむなく計画を一部変更しましたが、所期の目的は、ほぼ達成できたものと思います。

今後、このプログラムを継続し、さらに充実させていくことで、地域に求められる人材を育成していくことが課題です。それに加えて、学生一人ひとりが実りある職業人生を送れるよう、個々に応じた支援をしていく必要もあります。このプログラムを契機に、今後も地域の皆様方のご協力をいただきながら、教職員一丸となって本学の教育理念である「時代に即応した堅実にして有為な人間の育成」の実現へ向けて努めていきたいと考えています。

平成 23 年 3 月

鹿児島女子短期大学
教養学科長（取組推進責任者）　　武　田　輝　章

目次

１　本取組の概要---------- 1

２　本取組の趣旨・目的・達成目標---------- 1
（１）取組の趣旨・目的---------- 1
（２）取組の達成目標---------- 1

３　平成２１年度活動報告---------- 2
（１）キャリア開発教育プログラムの構築---------- 2
（２）就職活動支援のための情報検索システム構築---------- 4
（３）学外講師による授業・講演会の実施---------- 5
①就業力育成のための講座等
②就職支援のための講座等
（４）保護者会との連携強化---------- 7
（５）地元企業との連携事業---------- 8
①学内事業所ガイダンス
②地元企業と語る会
（６）卒業生に対するアンケート調査の実施---------- １２
（７）先行大学等視察---------- １２

４　平成２２年度活動報告---------- １５
（１）キャリア開発教育プログラムの実施---------- １５
（２）情報検索システムの改善、教職員用システムの構築---------- １６
（３）学外講師による授業・講演会の実施---------- １６
（４）保護者会との連携強化---------- １８
（５）地元企業との連携強化---------- １９
①「キャリアデザインセミナー」の実施
②企業に対するアンケート調査の実施
（６）進路支援体制の充実---------- ２３
①就職アドバイザーの雇用
②キャリアカウンセラー資格取得
（７）先行大学等視察---------- ２３
（８）外部評価の実施---------- ２４

５　資料編---------- ２７

６　２０１０年度鹿児島女子短期大学卒業生アンケート調査報告---------- ５３

平成２１年度活動報告

平成 21 年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム　採択事業

めざそう「平成の篤姫」－鹿児島発社会人力養成プログラム－

１．本取組の概要

出身も就職・進学先もほとんどが県内という本学学生に、この地域で求められる「社会人力」を獲得させるためのプロジェクトである。21 世紀を強く生き抜く理想の女性像を「平成の篤姫」と名付け、鹿児島の地で期待される様々な能力を測る物差しとして本学独自の「平成篤姫認定証」を創設して、学生に取得させるための学内組織作りと地域連携システムの構築を目的とする。

「平成篤姫認定証」は、①社会人力育成のための授業、②各種検定、③ボランティア等の学生の主体的な社会的活動、④学外講師陣による講演会や地域密着型の多彩な催しの４領域における学修のプロセスと成果を、「キャリア活動記録表」と「プレゼンテーション」によって評価し、学生に与えるものである。これまで本学が実施してきた種々の取組を有機的に再統合するとともに、教職員の資質の更なる向上に努めながら、地域社会との連携を一層深めることで学生支援を格段に飛躍させ、地域に期待される「社会人力」を身につけた人材を育成するための企画である。

２．本取組の趣旨・目的・達成目標

（１）本取組の趣旨・目的

鹿児島という地域で生きていく本学の学生が、地域社会から求められる種々の能力、即ち、大人の女性としての「社会人力」を身につけるための支援プログラムである。「平成篤姫認定証」発行へ向けて、各科目の内容を見直すと共に、学内組織と支援体制の再構築を図る。

また、卒業生や企業情報のデータベース化を通して地域社会との連携を深めながら、教職員の資質向上にも努め、就職支援を一層強化するものである。

（２）本取組の達成目標

地域から期待され、地域に貢献できる人材育成の支援体制を構築するために①教職員の資質向上、②各教科の有機的再統合、③地域社会との連携の3点を確立する。

学生の達成目標としては、社会人として必要な学力をはじめ、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力等を測るための指標として「平成篤姫認定証」を設け、学生の取得率が90％以上になることを目指す。

３．平成２１年度活動報告

（１）キャリア開発教育プログラムの構築

地域で求められる社会人力を身につけ、２１世紀を強く生き抜く女性を育成することを目的とした教養学科独自のキャリア開発教育プログラムを構築した。

①キャリア関係科目についての内容見直しと体系化を実施

平成２１年度までに教養学科で実施してきたキャリア関連科目を体系化し、実効性を高めるため、厚生労働省のＹＥＳプログラム（若年者就職基礎能力支援事業）に準拠したカリキュラムに改編した。

ＹＥＳプログラムでは実際に企業が若年者に求めている「就職基礎能力」を「コミュニケーション能力」「職業人意識」「基礎学力」「資格取得」「ビジネスマナー」とし、それぞれに達成目標を設けている。この各領域に対応させるために、従来の科目について内容の見直しを行うとともに、実情に合わせて一部科目の科目名を変更した（表１）。

表１　キャリア関連科目

科目名（新）	科目名（旧）	ＹＥＳプログラム対応領域
人間関係とコミュニケーション	人間関係論	コミュニケーション能力
キャリアデザインⅠ・Ⅱ	―	職業人意識
社会人基礎Ⅰ・Ⅱ	基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ	基礎学力（読み書き・数学・社会人常識）・コミュニケーション能力
社会人マナー	ビジネス実務演習Ⅰ	ビジネスマナー

ＹＥＳプログラムの認証基準の教育内容とテキストについては、資料１（資料編　27ページ～29ページ）の通りである。

平成 21 年 12 月、関係書類を整え、「ＹＥＳプログラム」への認定申請を行った。しかし平成 22 年１月、厚生労働省から「ＹＥＳプログラム」が事業仕分けにより事業停止となった旨、連絡があり申請書一式が返却された。事後策について教養学科会議で再検討した結果、教養学科の教育プログラムとして、予定通り実施することを決定した。

なおキャリア教育科目のシラバスは資料2（資料編　30ページ～33ページ）の通りである。

②「社会人基礎力認定証」の発行へ向けて

地域で求められる「社会人力」を獲得させるために「社会人基礎力認定証」を設けることにした。認定証取得という目的意識を持つことで、学生の学ぶ意欲の向上につながることを期待したものである。当初の計画案では「平成篤姫認定証」としていたが、認定する内容を明記した方が理解しやすいとの考えから、「社会人基礎力認定証」と改称することにした。

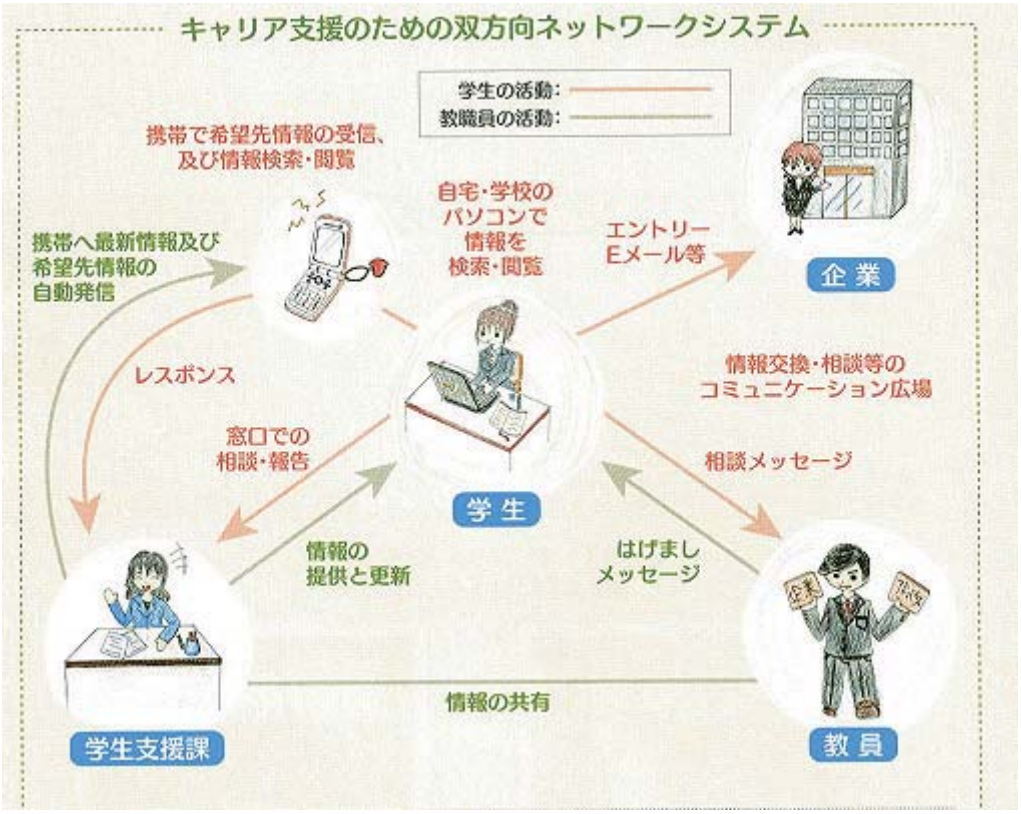
平成２２年度以降の入学生へ認定証を発行するため、認定証取得要件を決定した（表２）。また、その過程を専用シートに記入、一括してファイルすることで、キャリアポートフォリオを作成することにした（資料３・資料編　34ページ～36ページ）。

表2　「社会人基礎力認定証」取得要件

項目	詳細	条件
キャリア開発科目	社会人基礎Ⅰ・Ⅱ 人間関係とコミュニケーション キャリアデザインⅠ・Ⅱ 情報活用 社会人マナー	単位取得 出席率90%以上 ８割以上が「良」以上
基礎学力	基礎力向上計画表 （一般常識・読書など） 一般常識テスト	担任の確認印 目標達成（一律２０点アップ・８０点でクリア・何度でも受験可能）
資格取得	情報系 ビジネス系 漢字・表現関係 英語関係 経理関係（簿記など） かごしま検定　　その他	いずれか１つを取得
講演会	キャリアデザイン 地元企業との連携 接遇 ファッションメイク・その他	レポート提出
学外研修	学外研修　Ⅰ　Ⅱ	レポート提出
社会参加	サークル ボランティア・アルバイト インターンシップ	何れかに参加 社会参加「経験ファイル」を提出
キャリア面談	CDA（キャリアカウンセラー） 担任 相談員（外部を含む）	キャリア面談表を提出
キャリア開発記録表	上記すべてを記録	担任に提出
プレゼンテーション	まとめ	ホーム毎に実施、代表者決定 代表者が全体で発表

（2）就職活動支援のための情報検索システム構築

学生の就職活動を支援するため、双方向のネットワークシステムを構築した。これにより、学外からの情報収集や情報交換が可能になるとともに、必要な情報を必要なときに迅速に提供できる体制を整えることができた。また教職員が情報を共有することで、学生指導の連携を強化し、効果的な就職活動支援を可能にした。



特徴

・最新の就職情報を携帯電話や学内パソコンで確認できる。
・就職希望条件（職種、地域等）を事前に登録しておくと、本学に届いた求人情報のうち、希望条件に合致した就職情報がメールで届く。
・教員と学生支援課が情報を共有することにより、きめ細かなサポートが可能となる。

（３）学外講師による授業・講演会の実施（平成２１年度）

地域社会との連携策の一つとして、企業人や卒業生などの学外講師による授業や講演会を実施した。講演会は、就業力育成と就職支援を目的としたものである。学生には、授業等の終了後にレポート提出を義務付けている。

①就業力育成のための講座

企業からのメッセージ

テーマ　：「今、就活を控えた学生に伝えたいこと」
講師　　：株式会社　コルテーヌ
　　代表取締役社長　黒木京子氏
日　時　：平成２１年１２月１５日(火)　　１２：５５～１４：２５
会　場　：本館６０８号室
対象者　：教養学科　１年生　１１０名

卒業生からのメッセージ

テーマ　：「わたしの職場紹介・就活体験」
講　師　：中島知奈さん（本学卒業生）
日　時　：平成２２年1月１９日(火)
　　１２：５５～１４：２５
会　場　：本館６０８号室
対象者　：教養学科　１年生　１１０名

②就職支援のための講座

接遇講座

講　師　：乙守　三千代　氏
日　時　：平成２２年2月８日（月）
　　１３：００～１４：００
会　場　：本館６０８号室
対象者　：教養学科　１年生 112 人

接遇講座は児童教育学科、生活科学科にも実施した。

児童教育学科

日　時：　平成２２年２月８日(月)　１４：３０～１５：３０
会　場：　本館３０６号室
講　師：　乙守　三千代　氏
対象者：　児童教育学科初等教育学専攻１年生　３８名

日　時：　平成２２年２月８日(月)
　　１１：１０～１２：１０
会　場：　本館７０１号室
講　師：　山野　真理　氏
対象者：　児童教育学科幼児教育学専攻
　　１年生　２２５名

生活科学科

講　師：　中村朋美氏
日　時：　平成２２年１月２１日(木)
時間帯：　１４：４０～１５：４０
会　場：　本館６０８号室
対象者：
　生活科学科生活科学専攻　１年生　５５名
　生活科学科生活福祉専攻　１年生　２６名

日　時：　平成２２年２月８日(月)
時間帯：　１３：００～１４：００
会　場：　本館４０１号室
対象者：　生活科学科食物栄養学専攻
　　１年生　１１２名

リクルートファッション・メイク講座

講　師：　株式会社　山形屋　矢部久美子氏他
　　ボビーブラウン　講師　２名
日　時：　平成２２年２月１０日（水）
　　１３：００～１５：００
会　場：　本館７０１号室
対象者：　教養学科　１年生 112 人

（4）保護者会との連携強化

保護者のつどいの実施

本学では、例年 5 月に 2 年生の保護者を対象とした保護者会を実施しているが、就職活動の早期化に対応して、教養学科では１年次にも保護者会を実施することとした。保護者と教職員が連携して学生支援にあたることで、学生一人ひとりの特性に合わせたきめ細かな対応を目指すものである。

日　時：　平成２１年１０月１８日
場　所：　本学本館 402 号室
参加者数：45 名
内　容：　平成２１年３月卒業生の就職先、就職率
　　２年生の就職活動状況
　　教養学科で実施しているキャリア支援の内容
　　今後の就職活動の進め方について
　　保護者の皆様にしていただきたいこと
　　担任、キャリアカウンセラーとの個別面談

（５）地元企業との連携事業

①学内事業所ガイダンスの実施

本プロジェクトの推進母体は教養学科であるが、事業所ガイダンスは全学科を対象として実施した。

教養学科

講　師　：　鹿児島銀行みずほ通支店長
　　安田　康弘　氏
日　時　：　平成２２年２月８日（月）
　　９：３０～１０：３０
会　場　：　本館６０８号室
対象者　：　教養学科　１年生 112 人

講　師　：　株式会社丸屋本社　社長
　　玉川　惠　氏
日　時　：　平成２２年２月８日（月）
時間帯　：　１０：５０～１１：５０
会　場　：　本館６０８号室
対象者　：　教養学科　１年生 112 人

児童教育学科

講　師　：　玉里善き牧者幼稚園
　　園長　蔵元　修　氏
日　時　：　平成２２年２月３日(水)
時間帯　：　１３：００～１４：００
会　場　：　本館３０９号室
対象者　：　児童教育学科 初等教育学専攻
　　１年生　３８名

講　師　：　あすなろ保育園
　　園長　福重　陽一　氏
日　時　：　平成２２年２月８日(月)
時間帯　：　９：３０～１０：５０
会　場　：　本館７０１号室
対象者　：　児童教育学科 幼児教育学専攻
　　１年生　２２５名

生活科学科

講　師　：　坂之上生協クリニック
　　事務長　門之園　恭二　氏
日　時　：　平成２２年２月３日(水)
時間帯　：　１４：４０～１６：１０
会　場　：　本館４０４号室
対象者　：　生活科学科生活科学専攻
　　１年生　５５名
　　２年生　３２名

講　師　：　嘉祥園
　　施設長　白鳥　京子　氏
日　時　：　平成２２年２月８日(月)

時間帯　：　１０：００～１１：００
会　場　：　本校西館２０４号室
対象者　：　生活科学科生活福祉専攻
　　１年生　２６名

講　師　：　清水保育園
　　園長　中道　辰代　氏
日　時　：　平成２２年２月８日(月)
時間帯　：　１０：００～１１：００
会　場　：　本校本館４０１号室
対象者　：　生活科学科食物栄養学専攻
　　１年生　１１２名

②地元企業と語る会の実施

さまざまな業種・職種の地元企業の方々と触れ合うことを通して、地域への理解を深め、学生の職業観を養うことを目的とし「地元企業と語る会」を実施した。

「地元企業と語る会～地域の担い手を目指そう!」実施報告

日時：平成 22 年 2 月 24 日（水）　　10:00～13：00
場所：本学７F（百周年記念ホール）他
講師：鹿児島商工会議所青年部　19 名　（オブザーバー1 名）
対象：教養学科 1 年生　90 名
担当（会場設営、当日運営）：教養学科教員、学生支援課職員、事務補佐員他

☆開会のあいさつ　　鹿児島女子短期大学　学長補佐　寺薗玲子
☆講師自己紹介
☆第１部　オリエンテーション　10:20～10:45　　７F　百周年記念ホール
講師　鹿児島商工会議所青年部　　東　圭太氏

【YEG・鹿児島商工会議所青年部】とは
【経営】とは
【財産】とは
【成長への決意】

第１部

第２部

☆第２部　企業人と語る会　　10:45～12:00　　４F　４会場

1 グループ（404 号室）　教養学科 1 年 1 組　前半

講師　笹木伸一氏・小林隆氏・久木原俊昭氏・鈴木慎平氏（教員　倉元博美）

2 グループ（405 号室）　教養学科 1 年 1 組　後半

講師　正ゆかり氏・林隆秀氏・尾前克則氏・安陪信氏　　（教員　有馬利加子）

3 グループ（406 号室）　教養学科 1 年 2 組　前半

講師　若松伸一氏・是枝剛氏・上拾石康博氏・畑野昌作氏（教員　武田輝章）

4 グループ（407 号室）　教養学科 1 年 2 組　後半

講師　吉村晃誠氏・谷口由香氏・保直延氏・中村一人氏　（教員　霧島怜、園田美保）

総括班（肥後潮一郎氏・東圭太氏・竹之上巖氏・大重康雄・有馬恵子・学生支援課）

内容

- 経営者（企業人）として若手社員に望むこと
- 私が新入社員だった頃
- 鹿児島の地元企業に勤めることの魅力
- 逆境を跳ね返した体験談
- 質疑応答

☆情報交換会　　12:00～13:00　　大会議室

参加者　鹿児島商工会議所青年部会長、講師陣、教養学科教員、学生支援課職員

内容　　実施後の感想、内容の検討、改善点の指摘、今後の方針など

感想と所見

- 企画に時間をかけることができなかったにもかかわらず、鹿児島商工会議所青年部から多大なご協力をいただいたことが有り難かった。
- 地元企業の方々と連携を深めることができ、学生にも教職員にも有意義な会だった。
- 今後もこのような会を継続できるよう、検討していきたい。
- 講師陣がバラエティに富んでいて、多くの情報を得ることができた。講師陣が、4 グループにバランスよく配置されていた。
- これを機会に、企業訪問して、話をお聞きするなど、学生支援に役立てたい。
- 個人の体験談などを聞けて、学生が親近感を持つことができたようだ。
- 地元企業にも輝いているところがたくさんあることを理解できたと思う。
- 学生からは、「楽しかった」「会社選びのコツを教えてもらってよかった」「鹿児島の企業について知ることができてよかった」「勉強になった」等の感想があった。

- 次年度は、今回のような会を 11 月頃実施し、この時期には少し踏み込んで、業種別とか模擬面接のような形式を考えてもよいのではないか。

・女子短大なので、各グループに一人は女性がいてくださると有り難いと思う。
・１グループの学生数を、もう少し少なくできないか。
・学生への周知が足りなかった。（参加企業について事前に調べた上で、質問事項などを考えてくるよう指示すべきだった）
・積極的に質問する学生もあったが、質問に答えられなかったり、返事ができなかったりする学生が多く見られた。その体験自体が貴重な経験になったとも思うが、事前の指導が必要ではないだろうか。
・マナー指導を徹底すべき

（６）卒業生に対するアンケート調査の実施

卒業生の就業状況やキャリア形成についての実態を把握するため、卒業生に対するアンケート調査を実施した。（資料11・資料編　72ページ～77ページ）　調査結果を、卒業生による進路支援を行う際の基礎データとして活用するとともに、本学における就職活動支援の取組みの改善に反映させ、学生の社会人力向上につなげることを目的としたものである。

調査対象：各学科本学を卒業後５年、１０年、１５年、２０年、２５年、３０年の卒業生
　　教養学科は卒業後３年～１０年
実施時期：平成２２年３月１日～３月３１日
調査内容：職業生活や社会的活動等に関することならびに、短大教育への要望等
発送数：4,896
回答数：　394

調査結果は巻末に掲載。「2010 年度鹿児島女子短期大学卒業生アンケート調査報告」（資料編　54 ページ～71 ページ）

（７）先行大学等視察

本学におけるキャリア教育の内容および支援体制の改善に反映させることを目的として、他大学等への訪問やプロジェクト関連研修会等へ参加し、進路支援体制と社会人力養成カリキュラムに関する情報を収集した。

学生支援推進プログラム「第１回キックオフシンポジウム」参加

日　時：　平成２１年１２月１９日（土）
場　所：　追手門学院大学（大阪府茨木市）
参加者：　大重康雄（教養学科准教授）

学生支援推進プログラム視察

日　時：　平成２２年２月１４日（日）～１７日（水）
訪問先：　立命館大学草津びわこキャンパス（滋賀県草津市）
担当者：　園田美保（教養学科　講師）

社会人基礎力育成グランプリ 2010（経済産業省主催）参加

日　時：　平成２２年３月４日（木）～６日（土）
場　所：　よみうりホール（東京都千代田区）
参加者：　有馬恵子（教養学科准教授）・園田美保（教養学科講師）

地域活動のカリキュラム化視察

日　時：　平成２２年３月９日(火)～１１日(木)
訪問先：　九州大学
担当者：　園田美保（教養学科講師）

「大学教育・学生支援推進事業」意見交換会参加

日　時：　平成２２年３月１０日（水）～１１日(木)
場　所：　愛知県名古屋市
担当者：　武田輝章（教養学科 学科長）

学生の「社会人基礎力」向上のために、どのようなカリキュラムまたは活動を行っているかを中心に視察した。本学でも、さまざまな取組を行っているが、特に地域と連携した学生参加型授業の実施は、長年の課題である。先行大学等の事例について得た情報を学科会議等で報告し、本学での実施を実現するために検討している。

平成２２年度活動報告

４．平成２２年度活動報告

（1）キャリア開発教育プログラムの実施

平成２２年度入学生に「社会人基礎力認定証」の趣旨と１年後期終了時に取得要件を満たした学生に、認定証を授与することを説明した。また各自でキャリアポートフォリを作成するよう、キャリア開発記録表等を配布した。

① キャリア開発科目

認定証に必要な要件を満たしているかを確認した。

② 基礎学力

社会人基礎Ⅰ・Ⅱの中で一般常識テストを実施した。目標を達成するまでチャレンジできるよう機会を設けた。

基礎学力向上を目指して、カリキュラム外で数学と理科のセミナーを実施した。希望者のみであるが、３０～４０名程度が参加した。

③ 資格取得

資料４のとおり「アドバンス・プログラム」として学内で支援講座等を実施している。（資料編　37ページ）

さらに１０月からは、志學館大学の教員による FP 講座を実施した。

④ キャリア面談

社会人基礎や特設時間等を利用して、ホーム担任が個別面談を行った。

CDA（キャリアカウンセラー）による面談は、春季休業中に全員を対象に実施した。

⑤ プレゼンテーションの実施（資料５－１～３・資料編　38ページ～39ページ）

実施要領に従い、社会人基礎Ⅱで実施。２週にわたり、ホーム毎に全員がプレゼンテーションを行い、ホームの代表者を決定した。代表決定の審査は担当教員を主とし、学生の相互評価も参考にすることとした。

平成２３年１月１１日、代表者による発表会を実施。教養学科最優秀プレゼンテータ賞を決定した。この審査には、外部評価委員４名にも参加していただいた。

⑥　平成２２年度末、学生全員にプログラム関連資料ならびにレポート等をまとめた「キャリアポートフォリオ」を提出させ、要件を満たした学生に「社会人基礎力認定証」を発行した。（資料６・資料編　40ページ）

プレゼンテーション（代表者発表会）

最優秀プレゼンテーター授賞式

（２）学生支援システムの機能強化、教職員用システムの構築

平成２１年度に開発した学生支援システムの本格運用を開始したことで、情報提供の迅速化と情報収集の効率化が可能になった。システムの利用を通して新たに発生した問題点（例えば携帯電話の使用機種やその設定により利用に不具合が生じた等）を改善し、システムのさらなる充実を図った。

平成２２年度は、学生向けには受験報告書の閲覧を可能にする機能を加え、教員向けには新たなシステムを構築し、学生支援システムの充実を図った。教員向けシステムの機能は下記の通りである。

・進路希望データ閲覧　・学生就職状況閲覧
・学生情報閲覧　・単位取得状況閲覧

（３）学外講師による授業・講演会

①就業力育成のための講座

講　師：　水口　毅　氏
テーマ：「労務管理からみる企業の見分け方」

対象者：　教養学科　２年生　１０６名
日　時：平成２２年６月１０日(木)
時間帯：１２：５５～１４：２５
会　場：南館６０１号室

対象者：　教養学科　１年生１０８人
日　時：　平成２２年１１月１６日（火）
時間帯：　１０：３５～１２：０５
会　場　：南館６０１号室

②就職支援のため講座

「リクルート活動におけるスーツ・メイク説明会」

日時：平成２２年１２月７日（火）
時間帯：１０：３５～１２：０５
会　場：本館７０１号室
対象者：教養学科　１年生１０８人
講　師：　株式会社山形屋２号館　矢部久美子氏他・ボビーブラウン講師２名

メイク講座

リクルート・スーツ 説明会

接遇講座

日　時：平成２３年２月９日（水）

①会　場：本館６０８号教室　　時間：１３：００～１４：００
対象者：教養学科　１年生１０８人
講　師：A-ｃｕｂｅ株式会社　有馬　奈津子氏

②会　場：本館４０１号教室　　時間：１２：３０～１３：３０
対象者：児童教育学科　（１・５・６組）　１年生１２０人
生活科学科　生活福祉専攻　１年生３１名
講　師：有限会社プラスピュア　代表　野口純子氏

③会　場：本館７０１号教室　　時間：１２：３０～１３：３０
対象者：児童教育学科　（２・３・４組）　１年生１５０人
講　師：オフィス中村朋美　代表　中村朋美　氏

（4）保護者との連携強化

保護者会の実施（２年生の保護者対象）

日時：平成２２年５月２２日

場所：本館４０２号室

内容：教養学科　就職活動状況・就職活動の進め方、
求人情報について等
担任、キャリアカウンセラーとの個別面談

保護者のつどいの実施　（1 年生の保護者対象）

日時：平成２２年１０月１７日
１１：００～１２：００

場所：本学本館７F 百周年記念ホール

参加者数：４１名

内容：平成２２年３月卒業生の就職先、就職率
２年生の就職活動状況
教養学科で実施しているキャリア支援の内容
今後の就職活動の進め方について・就職求人情報について
保護者の皆様にしていただきたいこと
担任、キャリアカウンセラーとの個別面談

（５）地元企業との連携強化

①　「キャリアデザインセミナー」の実施

地元企業４社からの講師により、業界の動向、業種・職種についての解説や地域の経済状・企業が求める人材像等についてのパネルディスカッションを実施した。さまざまな業種・職種に関する知識を得、実社会への理解を深めることで、学生の進路選択の幅を広げ、主体的に職業を選択できる能力を育成することを目的としたものである。(資料７・資料編41ページ)

キャリアデザインセミナー

－パネルディスカッション「地元企業が求める人材像」－　**実施報告**

日　時：　平成２２年８月６日(金)　１０：００～１２：００
会　場：　本館７F　百周年記念ホール
対象者：　教養学科　１年生　１０８名・教養学科　２年生の希望者
講　師：　南国殖産株式会社　　三嶋　暁　氏
　　城山観光ホテル　　保　直延　氏
　　株式会社マジオネット　　福留　幸雄　氏
　　株式会社鹿児島銀行　　塩田　深雪　氏
コーディネーター：
　　鹿児島女子短期大学　　大重　康雄
内　容：会社概要（自己紹介を兼ねて）
　　働く上で必要な資質能力について
　　学生時代にしておくべきこと
　　質疑応答

②学内事業所ガイダンスの実施

教養学科

講　師：株式会社鹿児島銀行人事部人事ｸﾞﾙｰﾌﾟ　主任調査役　鈴木　広和氏
　　全日本空輸株式会社　鹿児島支店　　支店長　　篠原　敏夫氏
日　時：平成２３年２月９日（水）　９：３０～１１：５０
会　場：本館６０８号教室
対象者：教養学科　１年生１０８人

児童教育学科

ａ．講　師：玉里善き牧者幼稚園　園長　蔵元　修氏
日　時：平成２３年２月９日（水）
　　１０：００～１０：４５、１１：００～１１：４５
会　場：本館７０１号教室、本館４０１号室
対象者：児童教育学科　１年生２００人

ｂ．講　師：すみれ保育園　副理事長　青木和彦氏
日　時：平成２３年２月９日（水）
　　１０：００～１０：４５、１１：００～１１：４５
会　場：本館４０１号教室、本館７０１号室
対象者：児童教育学科　１年生２００人

生活科学科

ａ．講　師：嘉祥園　施設長　白鳥京子　氏
日　時：平成２３年２月９日　　１０：００～１１：００
会　場：本館３０８号教室
対象者：生活福祉専攻　１年生３１人

ｂ．講　師：株式会社ﾌｰｽﾞｻﾌﾟﾗｲﾀﾞｲｿｰ　開発部ﾁｰﾌ　中之薗香菜　氏
　　ふじヶ丘保育園　栄養士　長井洋平　氏

③地元企業と語る会の実施

平成２１年度に引き続き「地元企業と語る会」を実施した。昨年度の反省を踏まえ、下記の点を改善した。

・グループ数を増やし、グループ内の学生数を少なくする。
・各グループに女性企業人を配し、身近な立場からアドバイスをしていただく。
・学生の発言を促すため、事前に質問事項を企業側に知らせる。

「第２回 地元企業と語る会～地域の担い手を目指そう!」実施報告

日時：平成 23 年２月 24 日（木）　10:00～13：00
場所：本学７F（百周年記念ホール）　３F の４教室　学生ホール
講師：鹿児島商工会議所青年部　19 名　（オブザーバー１名）
対象：教養学科１年生　100 名
担当（会場設営、当日運営）：教養学科教員、学生支援課職員、事務補佐員他

☆開会のあいさつ　鹿児島女子短期大学　副学長　幾留秀一
☆講師自己紹介
☆第１部　オリエンテーション　10:20～10:45　７F　百周年記念ホール
講師　鹿児島商工会議所青年部　若松　伸一氏
☆第２部　企業人と語る会　10:45～12:00

＜講師陣＞

正　ゆかり　氏	中央石油㈱パームスプリングス天文館	久木原　俊昭　氏	㈱ピア
小林　　隆　氏	（有）リトルフォレスト	笹木　伸一　氏	中央ロード工業株式会社
東　　圭太　氏	㈱ライフプラザパートナーズ	吉村　晃誠　氏	南九州金属工業株式会社
保　　直延　氏	城山観光株式会社	尾前　克則　氏	有限会社 ワークマン・さいごう
肥後　潮一郎　氏	（株）肥後設計	林　　隆秀　氏	観光自動車株式会社
畑野　昌作　氏	畑野労務管理事務所	谷口　由香　氏	㈱YUKA インターナショナル
鈴木　慎平　氏	㈱すづき	安陪　　信　氏	㈱i 企画
若松　　伸一氏	㈱ワカマツ自動車	是枝　　剛　氏	㈱南日本新聞開発センター
上拾石　康博　氏	㈱ガードシステム鹿児島	中村　一人　氏	協和建設㈱
内田　英忠　氏	㈱アートハンズ	斉藤　高宏　氏	アクアクリーン㈱

☆情報交換会　12:00～13:00　本館３階
参加者　講師陣、教養学科教員、学生支援課職員
内容　実施後の感想、内容の検討、改善点の指摘、今後の方針

第１部

第２部

地元企業と語る会終了後、講師陣および学生にアンケート調査を実施した。（資料８・資料編42ページ）調査結果を見ると、講師陣・学生ともにこの会が有意義であるとの意見が多数を占めた。また開催時期・時間も概ね現状で満足しており、今後も会の継続を望む声が多かった。

今後の課題として「１グループの学生数をもっと少なくした方がよい・講師陣の数、特に女性講講師を増やしたい・学生の発言が多くなるような工夫（ゲーム形式など）が必要・参加するグループを学生が選ぶようにできないか・準備段階から学生を参加させたらどうか」等があがった。次年度以降の会に反映させたい。

また、受講した学生の代表がアンケート調査の報告書を持参して、各講師の企業を訪問し、さらに詳しい話が聞けたことも、今回の大きな収穫であった。

④企業へのアンケート調査の実施

教養学科卒業生の就職先へのアンケート調査を実施した。(資料９) 地域で求められる「社会人力」についての情報を得るとともに、本学の教育および就職支援に関する取組の改善に資することを目的としたものである。また、調査の実施により、事業所との連携を深めることも目指している。内容は企業が求める人材像や卒業生への評価、短大教育に望むこと等である。

調査対象：平成１８年度～平成２２年度の５年間に、教養学科卒業生が１名以上就職した事業所

調査時期：平成２２年８月２７日～９月３０日

調査方法：企業訪問による依頼及び郵送

調査企業：１０５事業所

有効回答数：５５事業所（回答率：５２．４％）

調査結果については、鹿児島女子短期大学附属南九州地域科学研究所に報告した。

「鹿児島県内企業の雇用動向と求める人材像～本学の教育・就職支援と卒業生についてのアンケート調査報告～」南九州地域科学研究所所報　第 26 号　pp. 19-34　2011 年

（６）進路支援体制の充実

①「就職アドバイザー」の雇用

学生の相談や事業所訪問を担当する「就職アドバイザー」を雇用し、支援体制を強化した。学生一人ひとりに対してきめ細かな対応ができるようになったとともに、事業所との連携を深めることで、本学独自の求人情報を収集・提供することが可能になった。

平成２２年　４月～現在	内圍　勝氏　（前職　ハローワーク）	週３回勤務
平成２２年１０月～現在	有馬奈津子氏（Ａ－ｃｕｂｅ所属）	週３回勤務

②キャリアカウンセラー資格（CDA）取得者増

教職員のキャリア支援に関する資質能力向上を図るために、キャリアカウンセラーの有資格者を増やすことを目指した。キャリアカウンセラー養成講座への参加者については職員全員を対象に公募したが、結果的には学生支援課（就職担当）の職員２名が参加することになった。（資料１０）

２名は資格受験に必要な要件を満たし、資格試験を受験した。

（７）先行大学等視察

【「大学教育・学生支援推進事業」意見交換会（近畿地区）】

日　時：平成２２年１２月９日（木）～１０日(金)
場　所：　大阪市
担当者：　武田輝章（教養学科 学科長）

【平成２２年度　大学教育改革ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ合同ﾌｫｰﾗﾑ】

日　時：平成 23 年１月 24 日（月）・25 日（火）
会場名：秋葉原コンベンションホール
主催者：合同フォーラム推進事務局
担当者：有馬　恵子（教養学科准教授）

【短期大学ｺﾝｿｰｼｱﾑ九州地域人材養成ﾌｫｰﾗﾑ】

日　時：平成 23 年２月 11 日（金）
会場名：佐賀県立生涯学習ｾﾝﾀｰｱﾊﾞﾝｾﾎｰﾙ
主催者：短期大学コンソーシアム九州
担当者：武田輝章（教養学科長）

【短大ｷｬﾘｱ教育ﾌｫｰﾗﾑ　in 京都】

日　時：平成 23 年２月 19 日（土）

会場名：池坊短期大学「こころホール」

主催者：聖和学園短期大学　他４短大

担当者：奥ノ園政弘（学生支援課長）

【ｷｬﾘｱ教育講演会・成果発表会】

日　時：平成 23 年２月 25 日（金）

会場名：佐賀市アバンセホール

主催者：佐賀市教育委員会・NPO 法人鳳雛塾

担当者：大重康雄（教養学科准教授）

【関西地区の短期大学採択校による合同報告会（支援力が短大のちから)】

日　時：平成 23 年３月５日（土）

会場名：京都光華女子大学短期大学部

主催者：京都光華女子大学短期大学部　他４短大

担当者：清水　真弓（学生支援課員）

【社会人基礎力育成グランプリ決勝大会】

平成 23 年３月９日（水）

会場名：日経ホール（東京・大手町）

主催者：経済産業省

担当者：武田輝章（教養学科長）

先行大学等の事例発表で、各々の意欲的な教育改革や学生支援体制の改善についての情報を得た。地域との協働による体験活動で、学生が成長していることは確実であるが、一方で相当の時間と労力と費用が必要であることも確認できた。今後の検討課題としたい。

また短期大学は、学びと就業を循環させる「地域の循環型学習社会の拠点」になるべきであるとの意見は、短期大学の役割について再考する契機となった。

（８）外部評価の実施

本取組について、様々な立場の方々からご意見をいただき、学生支援の更なる充実を図ることを目的として、外部評価委員会を開催した。

日　時：平成２３年1月１１日（火）
１４：４０～１６：１０　プレゼンテーション発表会視察
１６：２０～１７：３０　評価委員会
場　所：本館７Ｆ　百周年記念ホール（プレゼンテーション）
本館１Ｆ　大会議室　（評価委員会）
外部評価委員：
企業代表　鹿児島銀行人事部　人事グループ調査役　藤川和彦氏
高校代表　鹿児島女子高等学校　校長　有馬秀人氏
保護者代表　後援会役員　有馬真一氏
コンサルタント　ハローワーク鹿児島　大卒就職ジョブサポーター
月野俊夫氏
評価項目：
①キャリア開発教育プログラムについて
授業内容・　社会人基礎力認定証・プレゼンテーション・
キャリアポートフォリオ・その他
②地域社会との連携について
学外講師による授業や講演会・地元企業との連携活動・保護者会
卒業生へのアンケート調査・　企業へのアンケート調査・　その他
③進路支援体制について
学生支援システム・　就職アドバイザーの増員・教職員の資質向上
（キャリアカウンセラー資格取得者増）・その他
④その他

＜評価結果＞

取組全体としては、学生の進路支援に有効であり、評価できるという意見が多かった。今後、さらに充実、発展させるために、下記の項目について運用面等で検討・改善を加えた方がよいとの指摘があった。

①について

・社会人基礎力認定証の取得要件は、「能力・技術を身につけさせる視点」を基にして設定した方がよい。
・プレゼンテーションについては、「テーマ」を時代にあったものに設定する、表現力についての指導を強化するなどして、より説得力のあるものにした方がよい。

・社会の厳しさと学校の優しさの間の温度差が大きい。社会に何が求められているのか現実を見据えて、厳しい目線を入れた方がよいのではないか。

②について
・学外講師の講演・講座については、学生の要望やニーズに応じた企画があってもよいのではないか。
・「地元企業と語る会」は有意義である。年代の近い企業人との交流は学生の意欲を高めることにつながる。学生が全員女性なので、もっと女性講師を多くすれば、「女性の働く価値観」など身近な興味を持たせることができるのではないか。
・卒業生に対するアンケート調査は、回収率を上げる工夫が必要ではないか。
・アンケート調査結果や先行大学等視察で得た情報等を、どのように生かしていくのか、今後の展望を明らかにしてほしい。

③について
・学生支援システムは、学生にとっては、利便性が高いと考えられる。教職員がどのように使いこなしていくのかが問題ではないか。
・ビジネスサイト等も同時に使うとよいのではないか。時代の要請がそのようになっている。

④その他
評価委員会の進行について、各委員が事前に評価表等に記入したものを持ち寄り、それについて議論を深めた方がよいのではないかとの意見があった。　以上

資　料　編

資料　１－１

認証基準の教育内容とテキストの照合

実施機関名	鹿児島女子短期大学					
領域　名	コミュニケーション能力	実施機関 ｺｰﾄﾞ				
講座の名称	コミュニケーション（応用）講座					

教育内容	テキスト該当ページ
本学の「人間関係とコミュニケーション」の科目内で社会心理学や発達心理学などでの知見をもとに、人間関係をさまざまな視点から見ていき、今後の対人関係に役立つ内容を紹介する。 また、「社会人基礎」の科目で、意見集約などの基本的なコミュニケーション能力を身につける。	「人間関係とコミュニケーション」「図解利用講義」で使用するパワーポイント資料ならびに『就職活動のための文章表現力基本テキスト』（深尾紀子著、日本能率協会マネジメントセンター）を使用する。
①傾聴する姿勢	①パワーポイント資料 １－１，２，３　２－１，２，３ ３－１，２，　４－１，２，３，４
②双方向の円滑なコミュニケーション	②パワーポイント資料　３－１，２
③意見集約	③テキスト　１４８～１５３の題材を使用し、ディスカッションまたは小論文の読み合わせにより、意見集約の演習を行う。
④情報伝達	④テキスト　１７２～１８７
⑤意見の主張	⑤パワーポイント資料　３－１，２
⑥相手の尊重	⑥パワーポイント資料　３－１，２
⑦組織・人間関係	⑦パワーポイント資料　２－１，２，３
⑧明確な説明	⑧
⑨図表等を用いた表現	⑨図解利用講義資料（パワーポイント

資料　１－２

認証基準の教育内容とテキストの照合

実施機関名	鹿児島女子短期大学					
領域　名	職業人意識	実施機関 ｺｰﾄﾞ				
講座の名称	職業人意識（応用）講座					

教育内容	テキスト該当ページ
	テキスト: 「職業人意識（ビジネス教材シリーズ）」 FOM出版
(1)社会人・職業人としての社会的役割と責任	p.3～p.26 （ 第１章）
(2)組織秩序の維持	p.27～p.40 （ 第 2 章）
(3)主体性	p.41～p.56 （ 第 3 章）
(4)達成志向	p.58～p.62 （ 第 4 章）
(5)目標設定	p.58～p.70 （ 第 4 章）
(6)職業観・プロ意識	p.71～p.89 （ 第 5 章）

資料　１－３

認証基準の教育内容とテキストの照合

実施機関名	鹿児島女子短期大学					
領域　名	基礎学力（読み書き）	実施機関 ｺｰﾄﾞ				
講座の名称	基礎学力（読み書き・応用）講座					

教育内容	テキスト該当ページ
社会人としての基本的なビジネス実務能力のうち、特に文書実務に関する事項について、基本的な知識を得るとともに、ワークを通して実践的に学ぶ。 ①ビジネス文書の基礎知識 手紙・封筒の書き方 ビジネス文書の種類・役割 ビジネス文書の書き方 ②ビジネス文書の作成 社内文書、社外文書、企画書など ③ビジネス文書の読解	『就職活動のための文章表現力基本テキスト』（深尾紀子著、日本能率協会マネジメントセンター）を使用し、主にビジネス文書の基礎知識、作成について学ぶ。ビジネスネス文書の読解については、下記の他、新聞等を利用した演習により習得する。 ①テキスト １７２ページ～１８１ページ １９０ページ～１９５ページ ②同上 １９６ページ～１９７ページ ③同上 １５８～１７０

資料　１－４

認証基準の教育内容とテキストの照合

実施機関名	鹿児島女子短期大学					
領域　名	基礎学力	実施機関 ｺｰﾄﾞ				
講座の名称	基礎学力(数学・応用)講座					

教育内容	テキスト該当ページ
(1) 計算、計数 ・　３桁程度の四則演算（分数、小数を含む）が正確にできる。 (2) 数学的思考力 ・　数学的・論理的に順序立てて考えることができる。 ・　演繹的・帰納的な手法を用いて数学的・論理的に順序立てて考えることができる。	テキスト： 『基本ワーク　一般常識』増進堂・受験研究社 pp.38-39「数学科」 『最新最強のSPIクリア問題集』成美堂出版 pp.20-63「非言語能力問題」 テキスト： 『基本ワーク　一般常識』増進堂・受験研究社 pp.40-45「数学科」 『最新最強のSPIクリア問題集』成美堂出版 pp.64-136「非言語能力問題」

資料　１－５

認証基準の教育内容とテキストの照合

実施機関名	鹿児島女子短期大学		
領域　名	基礎学力（社会人常識）	実施機関 ｺｰﾄﾞ	
講座の名称	基礎学力（社会人常識・応用）講座		

教育内容	テキスト該当ページ
社会人として必要な常識を身につけるため、一般教養的な知識を習得するとともに、経済社会を始めとしたさまざまな分野の情報を収集し、それに対する自らの意見を発表することで、情報についての理解を深める。 さらに一般教養的な知識は、本学の一般教養科目を履修することで、身につけることができると考える。 ①一般教養的な知識（政治・社会・経済・文化・歴史等）を、ワークを通して身につける。 ②テキストにより、現在の社会情勢についての知識を得る。また新聞等からの情報を持ち寄り、小グループでのディスカッションを行うことで、情報についての理解を深めると同時に、プレゼンテーション能力も身につける。	本授業では下記の２冊をテキストとして使用する。 『基本ワーク一般常識』（就職受検対策研究会編著、増進堂・受検研究社発行） 『就職活動を始める前に読む本』（浦上昌則・三宅章介・横山明子著、北大路書房発行） なお参考までに、教育課程表のうち一般教養科目の部分を添付する。 ①『基本ワーク一般常識』　２ページ～３７ページ ②『就職活動を始める前に読む本』 ２ページ～３４ページ ９１ページ～１０７ページ

資料　１－６

認証基準の教育内容とテキストの照合

実施機関名	鹿児島女子短期大学		
領域　名	ビジネスマナー	実施機関 ｺｰﾄﾞ	
講座の名称	ビジネスマナー（応用）講座		

教育内容	テキスト該当ページ
ビジネス社会で必要とされるビジネス実務能力とは何かを知り、それを身につけることを目指す。特に社会人として必要な対人コミュニケーションについて基礎から学び、教材による演習や事務機器等を使用した実習を通して、社会に通用する実践力を身につける。 ①あいさつと話し方 ②電話のマナー ③訪問の方法 ④来客応対 ⑤話し方の基本、言葉遣い、話の聞き方 指示の受け方	本講義ではテキストとして主に『ビジネスマナー基礎実習　新版』（早稲田教育出版編集部編著、早稲田教育出版）を使用する。また随時、日経 VIDEO『ビジネスマナーのすべて』『ビジネスマナー入門』（マネジメントサービスセンター監修、日本経済新聞社）を補助教材として使用する。 ①９ページ～１４ページ、２３ページ （ことば遣い、話し方、あいさつ） ②１５ページ～２２ページ（電話応対） ③２３ページ～３３ページ 日経 VIDEO 第３巻　訪問と応対のマナー ④２３ページ～３３ページ（来客応対） ⑤４０ページ～４１ページ（敬語） ４ページ～８ページ（指示の受け方、話の聞き方） 補助教材　日経 VIDEO 『ビジネスマナーのすべて』 第１巻　あいさつ・ことば遣い・敬語の使い方 第２巻　職場のマナー・受命と報告・対人関係 『ビジネスマナー入門』 第３巻　訪問と応対のマナー

資料　２－１

科目番号		授業科目	社会人基礎　Ⅰ (Fundermentals of Social life　Ⅰ)	担当者	武田・霧島・倉元 伊佐山・有馬（恵）・大重 有馬（利）・園田・木根

区分	開講学期	学科・専攻	履修方法	単位数	必修・選択の別	備考
	１年前期	教　養	演　習	１	必　修	

授業の目標及び内容

１．授業の目標

大学生や社会人にとって必要不可欠な「コミュニケーション能力」「基礎学力」「社会人常識」を身につけることが目的である。

どんな時代がきても、どんな社会になっても、自分の道をみずから切り開くことができる力を習得することが目標である。

２．授業の内容

社会人としての基礎的な知識を身につけるとともに、さまざまなテーマに沿って情報を収集し、課題を分析して自分の考えをまとめ、それをわかりやすく他者へ伝える練習をする。みずからが手足を動かし、仲間と協力しながら、具体的な作業を通して問題を解決していく訓練を行う。

授業計画

３．授業計画

①	オリエンテーション・自己紹介
②	コミュニケーション能力１　「読む」「書く」「話す」ことについて
③	コミュニケーション能力２　図書館の利用法
④	社会人常識（一般常識）
⑤	社会人常識（一般常識）
⑥	コミュニケーション能力３　資料の集め方
⑦	コミュニケーション能力４　レポートの書き方
⑧	基礎学力（計数・計算）
⑨	基礎学力（計数・計算）
⑩	社会人常識（時事問題）
⑪	社会人常識（時事問題）
⑫	基礎学力（計数・計算）
⑬	基礎学力（計数・計算）
⑭	コミュニケーション能力５　明確な説明
⑮	コミュニケーション能力６　意見集約

成績評価

受講態度・レポートなどの提出物によって総合的に評価する。

参考文献等

テキスト・参考文献

『基本ワーク一般常識』（就職受検対策研究会編著、増進堂・受検研究社発行）

『最新最強のSPIクリア問題集』成美堂出版

『就職活動のための文章表現力基本テキスト』（深尾紀子著、日本能率協会マネジメントセンター）

『imidas SPECIAL 世界と日本の地勢を読み解く時事力』（イミダス編集部編、集英社発行）

備考

厚生労働省　若年者就職基礎能力支援事業（YES　プログラム）対応科目

オフィス・アワー

資料　２－２

科目番号		授業科目	社会人基礎　Ⅱ (Fundermentals of Social life　Ⅱ)	担当者	武田・霧島・倉元 伊佐山・有馬（恵）・大重 有馬（利）・園田・木根

区分	開講学期	学科・専攻	履修方法	単位数	必修・選択の別	備考
	１年後期	教　養	演　習	１	必　修	

授業の目標及び内容

１．授業の目標

大学生や社会人にとって必要不可欠な「コミュニケーション能力」「基礎学力」「社会人常識」を身につけることが目的である。

どんな時代がきても、どんな社会になっても、自分の道をみずから切り開くことができる力を習得することが目標である。

２．授業の内容

社会人としての基礎的な知識を身につけるとともに、さまざまなテーマに沿って情報を収集し、課題を分析して自分の考えをまとめ、それをわかりやすく他者へ伝える練習をする。みずからが手足を動かし、仲間と協力しながら、具体的な作業を通して問題を解決していく訓練を行う。

後半は「キャリアデザインⅡ」と対応して、将来へ向けて備えるための演習を行う。

授業計画

３．授業計画

①	コミュニケーション能力７　プレゼンテーション　その１
②	基礎学力（計数・計算）
③	学外研修Ⅱ
④	基礎学力（計数・計算）
⑤	基礎学力（計数・計算）
⑥	社会人常識（一般常識）
⑦	社会人常識（一般常識）
⑧	社会人常識（時事問題）
⑨	コミュニケーション能力８　プレゼンテーション　その２
⑩	エントリーシートチェック
⑪	エントリーシート評価
⑫	面接練習
⑬	模擬面接
⑭	グループディスカッション
⑮	卒業生の話

成績評価

受講態度・レポートなどの提出物によって総合的に評価する。

参考文献等

テキスト・参考文献

『基本ワーク一般常識』（就職受検対策研究会編著、増進堂・受検研究社発行）

『最新最強のSPIクリア問題集』成美堂出版

『就職活動のための文章表現力基本テキスト』（深尾紀子著、日本能率協会マネジメントセンター）

『imidas SPECIAL 世界と日本の地勢を読み解く時事力』（イミダス編集部編、集英社発行）

備考

厚生労働省　若年者就職基礎能力支援事業（YES　プログラム）対応科目

オフィス・アワー

資料　2－3

科目番号	518	授業科目	人間関係とコミュニケーション (Human Relations and Communication)	担当者	園　田　美　保

区分	開講学期	学科・専攻	履修方法	単位数	必修・選択の別	備考
	1年　後期	教　養	講　義	2	必　修	ビジネス実務士必修 情報処理士必修 ピアヘルパー受験資格必修

授業の目標及び内容

1．授業の目標

他者と関わりながら生きている自分や、自分と関わっている他者・社会について、主に心理学の視点から理解する。

そのうえで、他者と関わって生きていく事に敏感になる。

さらに、日常生活での自身の行動や、これからの行動を見直すきっかけとする。

2．授業の内容

主には社会心理学や発達心理学などでの知見をもとに、人間関係を様々な視点から見ていく。その中には、親子やきょうだい、仲間関係といった関係性から見る視点、関係づくりの中で働く心理的作用という視点、コミュニケーションをスキルでとらえる視点などが含まれ、今後の対人関係に役立つ内容を紹介する。

授業計画

3．授業計画

①	オリエンテーション ～講義計画、授業計画、例えば人間関係を心理学してみると？～
②	人間関係の始まり ～親子関係、愛着、養育態度、しつけ法～
③	きょうだいや仲間 ～きょうだいの性格、きょうだいへの親の対応、仲間関係のはじまりと発展～
④	対人認知と感情 ～他者のパーソナリティ認知、認知の歪み、偏見～
⑤	印象形成 ～情報間の影響、印象形成の原理、印象を作らせる自己呈示～
⑥	対人魅力 ～好意を高める条件;個人特性/空間の近接性/態度の類似/自己開示の適切さ/好意の返報制～
⑦	非言語コミュニケーション ～種類、社会的知能～
⑧	社会的スキル ～人間関係のスキル、社会的スキルの訓練法～
⑨	主張性 ～問題解決のためのアサーション～
⑩	友情と愛情 ～友人関係の意義と成立要因､友情を守るルール､恋愛関係の類型化､恋愛プロセス～
⑪	社会的自己 ～自己概念、自己の形成過程、自己評価、自己開示～
⑫	共感性 ～思いやりと共感性、共感の発達、共感的理解。共感的な接し方～
⑬	ストレスと人間関係 ～対人ストレス、ストレス緩和要因～
⑭	幸福感と人間関係 ～主観的幸福感、幸せ感と関連する要因、心理的 well-being～
⑮	総括・振り返り

成績評価

筆記試験（60分で実施）・各回の小レポート・受講態度

参考文献等

特定のテキストは使用しない
随時資料を配布する
使用機材：プロジェクター投影によるパソコンのプレゼンテーション

備考

オフィス・アワー	金曜日以外で随時（研究室）・要事前連絡

資料　2－4

科目番号	509	授業科目	キャリア・デザインⅠ (Career Design Ⅰ)	担当者	大　重　康　雄

区分	開講学期	学科・専攻	履修方法	単位数	必修・選択の別	備考
	1年　前期	教　養	講　義	2	必　修	

授業の目標及び内容

1．授業の目標

学生から職業人へ、そして職業を通じた自らのライフデザインをしっかり認識していることが、現代社会を生きる上でとても重要である。本授業では、キャリア形成を考える上で、基礎となるキャリア・デザインに関する理論および就業に関する意志決定のための様々な知識を学び、自律的キャリア形成を可能とする基礎力を身につける。

2．授業の内容

・自分とは何か……自己概念を分析する手法をキャリア発展理論から学ぶ。
・職業を通じて、自己実現を図る方法をライフキャリア形成の過程から学ぶ。
・わが国の労働環境や若年者・女性の雇用環境等データを活用し、職業観の多様性を考える。
・職業選択を中心とした「意志決定のプロセス」を学び就職活動の進め方を考える。
・現代社会で重視される社会人基礎力を学び企業倫理と個人の問題を考える。

授業計画

3．授業計画

①	「キャリア・デザイン」とは何か
②	女性の就業に対する価値観・主体性　（職業人意識②）
③	学生から職業人へ…組織秩序の維持　（職業人意識③）
④	キャリア発展理論（スーパーの理論）
⑤	同上　（ホランド他の理論）
⑥	キャリアに関する意志決定プロセス
⑦	若年者の雇用環境と達成志向　（職業人意識④）
⑧	企業の採用基準（人材の発見と選抜）
⑨	社会人・職業人としての社会的役割と責任及び企業にとっての社会的責任(CSR)（職業人意識①）
⑩	就職活動への心構え…基礎力の重要性
⑪	企業文化と地域社会
⑫	職場における目標設定と人事管理　（職業人意識⑤）
⑬	自己実現に向けて…職業観・プロ意識　（職業人意識⑥）
⑭	意志決定プロセスの新潮流
⑮	講義のまとめ

成績評価

・学期末に実施する筆記試験（90分で実施）の成績及び、授業への取組姿勢によって評価する。
（出席・授業取組姿勢10％・定期試験90％）

参考文献等

「職業人意識（ビジネス教材シリーズ）」　FOM 出版
「雇用システムと女性のキャリア」　武石恵美子　勁草書房
「キャリアの心理学」　渡辺三枝子　ナカニシヤ出版
その他各省庁発表雇用等データ
講師作成レジュメ（毎回配布予定）

備考

オフィス・アワー	随時（大重研究室）・要事前連絡

資料　2－5

科目番号	５２１	授業科目	キャリア・デザインⅡ (Career Design Ⅱ)	担当者	大　重　康　雄
区分	開講学期	学科・専攻	履修方法	単位数	必修・選択の別	備　考
	1年　後期	教　養	講　義	2	必　修	

授業の目標及び内容

1．授業の目標
　本授業では、キャリア・デザインⅠで学んだ、自律的キャリア形成を可能とする基礎力に関する知識をベースに、その応用編として職業選択・就職活動を中心としたより実践的な知識・スキルを身につける。

2．授業の内容
・自己概念を分析する手法から職業への適性とは何かを学ぶ。
・職業選択に当たっての業種・職種についての知識を学ぶ。
・企業の経営者・管理者を招き、企業が重要視する人材・スキル等について聴講する。
・エントリーシートの作成手法及び自己アピール等を就職面接ロールプレイングで体験的に学ぶ。
・職業社会に適合するための、ストレス対策・モチベーションの維持について学ぶ。

授業計画

3．授業計画

①	働く意義とは何か……就職活動の流れ　（基礎①）
②	自己ＰＲのための自己分析　（基礎②）
③	自己分析のまとめ　（基礎③）
④	自己ＰＲを書く　（基礎④）
⑤	自己ＰＲの推敲　（基礎⑤）
⑥	企業研究１：実務者講演（サービス業）
⑦	企業研究２：実務者講演（製造業）
⑧	企業研究３：実務者講演（人事採用担当者…企業の期待する人物像）
⑨	企業研究４：インターネットサイト等からの情報収集ポイント
⑩	エントリーシート作成演習１（課題作成・提出）
⑪	エントリーシート作成演習２（提出シートから抽出して評価分析）
⑫	就職面接への心構え・シナリオ作り
⑬	就職面接…実践と評価
⑭	企業倫理と社会貢献…地域に根ざしたキャリア・デザイン
⑮	ストレス社会とどう向き合うか…モチベーションの維持と向上

成績評価

・学期末に実施する筆記試験（90分で実施）の成績及び、授業への取組姿勢によって評価する。
　（出席・授業取組姿勢10％・定期試験90％）

参考文献等

「女性のキャリア・マネージメント」金谷千慧子著　中央大学出版
「雇用システムと女性のキャリア」　武石恵美子　勁草書房
「キャリアの心理学」　渡辺三枝子　ナカニシヤ出版
その他各省庁発表雇用等データ
講師作成レジュメ（毎回配布予定）

備考

オフィス・アワー	随時（大重研究室）・要事前連絡

資料　2－6

科目番号	５０４	授業科目	情報活用Ⅰ (Exercise on Ms-Windows & Ms-Office)	担当者	有　馬　利加子
区分	開講学期	学科・専攻	履修方法	単位数	必修・選択の別	備　考
	1年　前期	教　養	演　習	2	必　修	

授業の目標及び内容

1．授業の目標
　高校時までに習得した内容を確実なものとし、さらにOffice-Soft（Word・Excel・PowerPoint）を利用・活用していくことを目標としています。

2．授業の内容
①基本操作の確認
②インターネット・電子メールの基本・活用
③「Word」の基本・活用
④「Excel」の基本・活用
⑤「PowerPoint」の基本・活用
⑥総合演習（Word・Excel・PowerPoint 連携）

授業計画

3．授業計画

①	基本操作の確認
②	インターネット・電子メール基本
③	インターネット・電子メール活用①
④	インターネット・電子メール活用②
⑤	「Word」基本
⑥	「Word」活用①
⑦	「Word」活用②
⑧	「Excel」基本
⑨	「Excel」活用①
⑩	「Excel」活用②
⑪	「PowerPoint」基本
⑫	「PowerPoint」活用①
⑬	「PowerPoint」活用②
⑭	総合演習（Word・Excel・PowerPoint）①
⑮	総合演習（Word・Excel・PowerPoint）②

成績評価

○演習時における課題作成等の提出・受講態度等の総合評価で行います。

参考文献等

○参考（演習）資料：演習中配付
○使用機器・貸与ノートパソコン、液晶プロジェクター

備考

オフィス・アワー	随時（西館418研究室）出来れば、事前連絡で確認をお願いします。

資料　２－７

科目番号		授業科目	社会人マナー (Business　Manners)	担当者	有馬　恵子 有馬　利加子

区分	開講学期	学科・専攻	履修方法	単位数	必修・選択の別	備考
	１年・前期	教養学科	演習	２単位	必修	ビジネス実務士必修

授業の目標及び内容

１．授業の目標

社会人として必要な一般常識、対人コミュニケーション、文書実務について基礎から学び、実社会や職場での人間関係を円滑に進める方策を身につける。また変化の激しいビジネス社会に対応できる、臨機応変な実務能力を身につけ、社会の即戦力となることを目標とする。

２．授業の内容

社会人として身につけておくべき基本的な知識や技術を学ぶ。ことばづかいや接遇などの対人コミュニケーションや基本的な文書実務について、知識を得ることから始め、教材による演習や事務機器等を使用した実習を通して、実社会に通用する実践力を身に付ける。

授業計画

３．授業計画

①	社会人に求められる資質、能力
②	社会人としての基本心得（１）外見、行動の基準など
③	社会人としての基本心得（２）あいさつ、話し方、言葉づかい
④	敬語について
⑤	敬語演習
⑥	電話応対（基本知識、ロールプレイング）
⑦	来客応対（基本知識、ロールプレイング）
⑧	訪問のマナー
⑨	文書実務（１）基礎知識
⑩	文書実務（２）文書作成
⑪	文書実務（３）受発信、取り扱い
⑫	プレゼンテーション（１）基本知識、技術
⑬	プレゼンテーション（２）演習
⑭	情報実務（１）収集、活用
⑮	情報実務（２）管理

成績評価

受講態度・小テスト（実技を含む）・期末レポートを総合的に評価する。

参考文献等

『ビジネスマナー基礎実習　新版』（早稲田教育出版編集部編著、早稲田教育出版）
『就職活動のための文章表現力基本テキスト』（深尾紀子著、日本能率協会マネジメントセンター）

備考

厚生労働省　若年者就職基礎能力支援事業（YES　プログラム）対応科目

オフィス・アワー	随時（有馬研究室）

資料　３－１

キャリア開発記録表

年	月	日	種別	具体的内容	記録等

資料　３－２

キャリア開発記録表　（記入例）

年	月	日	種別	具体的内容	記録等
‘10	6	19	講演会	生島ヒロシ氏「これからの介護に備えて」	なし
	6	20	資格取得	秘書技能検定○級　受験	合格通知
	6	22	基礎学力	一般教養テスト	採点結果
	8	6	講演会	地域が求める人材について（仮）	レポート①
	8	23	社会参加	インターンシップ（２７日まで）	経験ファイル①

資料　３－３

キャリア面談

年	月	日	時間	面談者	面談内容	確認印

資料　３－４

基礎学力向上計画表

目標＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　**達成期限**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

期　間	計　画	実行（達成度）	確認印
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			
月　日 ～ 月　日			

資料　３－５

社会参加〔経験ファイル〕　その1

社会参加活動等の内容	
期　間	
場　所	
内　容	
活動団体	

活動前の自分
※活動等のきっかけや動機、目的など

活動中の自分
※活動中にやりがいを感じたことや誰かにほめられたこと、苦労したこととその解決法など

資料　３－６

社会参加〔経験ファイル〕　その2

活動後の自分
※活動等で得たものや（例えば、働く上で）役立ったこと、活動前と活動後で自分が変わったと思えたこと、気がついたこと、今後の自分にどう活かしていくかなど

思い出（自由記述欄）

担任　印

資料　4

アドバンス・プログラム（各種検定対策・進路支援）

検　定　名	試　験　日	対　策　講　座	推　奨　級	担当者
日本語ﾜｰﾌﾟﾛ技能標準試験（**Word**）	（２年次） ６月下旬～７月中旬 10月下旬～12月上旬 （行事により変更）	１年次前期「情報活用Ｉ」で「Word&Excel」の基礎を練習。 １年次後期「OA演習」で検定の内容説明及び基礎練習。 ２年次、検定前の休講・空き時間、放課後を利用して練習後、受験。	１級（２回実施）	有馬利加子
表計算技能標準試験（**Excel**）			２級（２回実施）	
ピアヘルパー	２年生の１２月	１１月　１回１コマ		園田美保
秘書検定	６月下旬・１１月中旬・ ２月上旬（年３回）	５回程度（秘書検定の５分野に対応）・ 模擬試験　１回実施	２　級 目指せ準１級！	有馬恵子
かごしま検定 ～鹿児島観光・文化検定～	６月第1日曜・９月第２木曜 ・１月第４日曜（年３回）		マスター以上 (ｼﾆｱｸﾞﾗﾝﾄﾞﾏｽﾀｰ)	大重康雄
簿記検定	６月第２日曜・11月第３日曜 ・２月第４日曜（年３回）	検定サークルで実施	３級以上 （２級・１級）	大重康雄
ITパスポート試験(国家試験)対策	４月　・　１０月 申込：1～2月・7～8月 受験手数料　５，１００円	合格率　：　２１年度春期　　７２．９％ 学生　　５１．８％（短大　４０．１％） 社会人　　８２．７％ 【　対策　】 試験に関する情報提供：ネットワークドライブ内に諸情報や勉強法を掲載 試験内容に関する対策：授業の中での説明、空き時間を利用しての個別対応		倉元博美

＜　進学支援　＞

・希望者があり次第随時　　週１回実施

・実施内容　　英語和訳　小論文指導　　専門知識研究（心理）　　担当：園田

「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム

めざそう「平成の篤姫」！　―鹿児島発社会人力養成プログラム―

プレゼンテーションについて

※「社会人基礎Ⅱ」の中で実施

※「社会人基礎力認定証」（平成篤姫認定証）の取得要件

※日時、場所

①平成２２年１２月１４日（火）、２１日（火）・・・社会人基礎Ⅱの時間
　各ホームの教室　　２日間で全員実施

②平成２３年　１月１１日（火）　　・・・４コマ目（ＯＡ演習の時間）
　　当日は２コマ目にＯＡ演習を実施

場所　未定（後日掲示）

各ホームからの代表者がプレゼンテーションし、優秀賞等を決定する

※テーマ（内容）

下記から選択すること

私のキャンパスライフ（学生生活）、就業体験、最近気になること
私のおすすめ、授業の内容、その他（自分で自由に決める）

概要書を１１月２日（火）にホーム担任に提出
（テーマ・内容について２００字～３００字）

※実施要領

○　一人につき、プレゼン５分、質疑２～３分、移動時間等１～２分
○　パワーポイントを使用。作成したファイルは事前提出する（詳細は後日）
○　評価は主に教員。学生も相互評価する。

評価の観点

ⅰ．企画・創案力
プレゼンの流れは具体的であったか、整合性がとれていたか。独創的な内容だったか。

ⅱ．調査・検索力
取り上げた問題について、十分調査が行われているか。調査・検索の方法は適切か。

ⅲ．問題抽出・検討力
問題点は適切に抽出されているか。また、それについて十分な考察が行われているか。

ⅳ．知識取得状況
プレゼンで取り上げた事項について十分な知識を身につけているか。

ⅴ．プレゼン・コミュニケーション力
内容がはっきり伝わったか。プレゼン時の態度はよかったか。

資料　5－2

1年　　組　　番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

★ 最も良かったプレゼンテーション

（名前）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（理由）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

★ 自分のプレゼンテーションについて

☆最初にたてた目標：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☆達成度：＿＿＿＿＿＿＿＿％

☆自分で評価できる点

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☆考えられる改善点

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

★今回のプレゼンテーション全体を通しての感想

資料　5－3

【評価コメント】

氏　名	他の人の発表で 良かった点	より良くするためのアドバイス

第2010-001号

社会人基礎力認定証

(CERTIFICATE OF ACHIEVEMENT)

氏　　名

（　年　月　日 生）

あなたは　鹿児島女子短期大学　において
社会人基礎力認定のための必要要件を満たしましたので
「社会人基礎力認定証」を授与します。

平成23年3月31日

鹿児島女子短期大学

学長　辰　村　吉　康

資料　7

キャリアデザインセミナー

パネルディスカッション「地元企業が求める人材像」

日時：平成２２年８月６日（金）
　　１０時～１２時

場所：鹿児島女子短期大学　７Ｆ百周年記念ホール

対象：本学教養学科１年生・２年生

パネリスト

三嶋　暁　氏	南国殖産株式会社　執行役員　人事部部長
保　直延　氏	城山観光ホテル　取締役　ブライダル部支配人
福留　幸雄氏	株式会社　マジオネット　取締役
塩田　深雪氏	株式会社　鹿児島銀行　監査部

コーディネーター

大重　康雄	本学　教養学科准教授

開会のあいさつ
　１０：００～１０：１０
パネルディスカッション
　１０：１０～１１：３０
　　①会社概要（自己紹介を兼ねて）
　　②働く上で必要な資質能力について
　　③学生時代にしておくべきこと
　　④質疑応答

閉会のあいさつ
　１１：３０～１１：４０

終了後　教職員との座談会・昼食（１１：５０～１２：４０）

２０１１年２月２４日実施

地元企業と語る会～地域の担い手を目指そう！

参加者アンケート

質問①「語る会」に参加する前に何か準備しましたか。

2　　1
した（内容　　）　　しなかった

質問②「語る会」には積極的に参加しましたか。

4　　3　　2　　1
積極的　　やや積極的　　やや消極的　　消極的

質問③「語る会」の開催時期についてどう思いますか。

3　　2　　1
よかった　　まあまあよかった　　よくなかった（希望時期　　）

質問④「語る会」の時間はどうでしたか。

3　　2　　1
長い　　ちょうど良い　　短い

質問⑤「語る会」の内容は、今後の進路を考える上で参考になりましたか。

4　　3　　2　　1
大変参考になった　　まあまあ参考になった　あまり参考にならなかった　全然参考にならなかった

《自由記述》

質問⑥「語る会」でよかった点

質問⑦「語る会」でよくなかった点

質問⑧その他、今日の感想、今後の講演会等への要望などを書いてください。

２０１１年２月２４日実施

地元企業と語る会～地域の担い手を目指そう！

アンケート（講師用）

質問①「語る会」についてどのように思われますか。

4　　3　　2　　1
有意義　　やや有意義　　あまり意義がない　　まったく意義が無い

質問②「語る会」の開催時期についてどう思われますか。

3　　2　　1
よい　　まあまあよい　　よくない

質問③「語る会」の時間はどうでしたか。

3　　2　　1
長い　　ちょうど良い　　短い

質問④「語る会」の内容は、どうでしたか。

3　　2　　1
このままでよい　　やや改善が必要　　大いに改善の必要がある

《自由記述》お気づきの点を自由にお書きください。
質問⑤「語る会」でよかった点

質問⑥「語る会」でよくなかった点

質問⑦その他、今日の感想やお気づきの点などお書きください。

ご協力ありがとうございました。　ご意見を今後の参考にさせていただきます。
今後ともよろしくお願いいたします。

鹿児島女子短期大学　教養学科

資料　9－1

鹿児島女子短期大学の教育・就職支援と卒業生についてのアンケート

◆いただいた回答は、鹿児島女子短期大学の倫理規定に基づいて適切に管理し、本学の教育及び就職支援についての点検・評価の目的以外に使用することはありません。
また、個人や団体が特定できる形での公表はいたしません。
◆本アンケートのご記入は、貴社(事業所)の総務又は人事部門の責任者の方にお願いいたします。
◆回答の仕方には、選択肢の中から該当するものを選ぶものと、具体的に回答内容を記述していただくものがあります。選択肢の場合は、設問の最後に選択する項目の数が(１つ)(２つまで)と示している場合があります。その指示に従ってご回答ください。
◆回答に迷う場合には、最も近いものを選んでください。ただし、回答しにくいあるいは回答したくない設問については、空欄でも結構です。
◆ご記入済みのアンケート用紙は、**２０１０年　　月　　日（　　）**までに、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れてご投函ください。
◆本調査に関するお問い合わせ等は、お手数ですが、下記までお願いいたします。
〒890-8565　鹿児島県鹿児島市高麗町 6-9　鹿児島女子短期大学　学生支援課
（TEL　099-254-9194）

【Ⅰ】貴社(事業所)の概要についてお尋ねします。

【問１】貴社(事業所)名	
【問２】業　　種	1. 農林水産業　2. 鉱業　3. 建設業　4. 製造業　5. 電気・ガス・熱供給・水道業　6. 情報通信業　7. 運輸業　8. 卸売・小売業 9. 金融・保険業　10. 不動産業　11. 飲食店・宿泊業　12. 医療・福祉 13. 教育・学習支援業　14. サービス業　15. 公務 16. その他（　　）
【問３】所　在　地	
（１）郵便番号	〒　　－
（２）住所	
（３）電話番号	TEL（　　）－（　　）－（　　）
【問４】ご回答者について	
（１）所属部課名	
（２）役職名	
（３）氏名	
【問５】従業員数について	
（１）正社員	名
（２）契約社員・パート等	名
（３）支社・支店の場合：会社全体	名
【問６】本社・店所在地（県・市）	都・道・府・県　　市

【Ⅱ】ご採用いただいた鹿児島女子短期大学の卒業生について、お伺いします。

（1）現在、貴社(事業所)に勤務する本学出身者は何名でしょうか。　　（　　）名

（2）貴社(事業所)における、過去5年間の本学卒業生の採用実績について、お教えください。

・平成 18 年度採用　（　　）名　(全体の採用者数　　名)
・平成 19 年度採用　（　　）名　(全体の採用者数　　名)
・平成 20 年度採用　（　　）名　(全体の採用者数　　名)
・平成 21 年度採用　（　　）名　(全体の採用者数　　名)
・平成 22 年度採用　（　　）名　(全体の採用者数　　名)

（3）本学の卒業生をご採用いただいた理由をお聞かせください。(○印：5つまで)

1．教員からの紹介・推薦　　**2**．過去の卒業生の実績が認められるから
3．一定水準以上の能力が認められるから　　**4**．基礎学力があり、伸びる人材だから
5．学校で履修した内容が当社に合致しているから　　**6**．仕事に対して意欲的であるから
7．コミュニケーション能力や人間的に魅力を感じる点が多いから
8．大学の教育内容を信頼しているから　　**9**．その他（　　）

（4）鹿児島女子短期大学卒業生の資質・能力について、下記項目について、該当すると考えられる番号を選択して○をおつけください。

5. 非常に優れている　4. 優れている　3. ふつう　2. 不満である　1. 大変不満である

1．仕事に対する熱意・意欲がある	5	4	3	2	1
2．責任感・誠実さがある（まじめである）	5	4	3	2	1
3．積極的で実行力（行動力）がある	5	4	3	2	1
4．コミュニケーション能力がある	5	4	3	2	1
5．表現力・プレゼンテーション能力がある	5	4	3	2	1
6．協調性・チームで仕事をする能力がある	5	4	3	2	1
7．統率力・リーダーシップがある	5	4	3	2	1
8．一般知識・教養がある	5	4	3	2	1
9．論理的思考ができる	5	4	3	2	1
10. 創造性・企画力がある	5	4	3	2	1
11. 新たなアイディアや解決策を見い出す能力がある	5	4	3	2	1
12. 課題発見力がある（問題点を発見する力がある）	5	4	3	2	1
13. 専門分野の基礎知識・技術がある	5	4	3	2	1
14. 専門分野の応用的知識・技術がある	5	4	3	2	1
15. 常に新しい知識・能力を身に付けようとする力がある	5	4	3	2	1
16. コンピュータの活用能力がある	5	4	3	2	1
17. 語学力がある（国際感覚がある）	5	4	3	2	1
18. プレシャーの中で力を発揮できる能力がある	5	4	3	2	1
19. 複数の仕事の順位を考えながら達成する能力がある	5	4	3	2	1
20. 自己分析・他者理解ができる	5	4	3	2	1

（5）上記設問（4）の項目の内、仕事を遂行する上で重要だとお考えの資質・能力について、5つまでお選びいただき、その番号をご記入ください。

（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）

（6）採用するにあたって、貴社(事業所)が重要視される項目は何ですか。(○印：2つまで)

1．基礎知識・一般教養　2．専門知識・技術　3．職務能力の適性
4．人物評価（積極性・協調性等）　5．課外活動経験（サークル・ボランティア・アルバイト等）
6．キャリア・学歴　7．その他（　　）

【Ⅲ】本学の教育・就職支援活動についてお考えをお聞かせください。

（1）本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお考えですか。(○印：1つ)

1．大変熱心だと思う　2．どちらかといえば熱心だと思う　3．熱心であるとはあまり思えない
4．熱心であるとはまったく思えない　5．どちらともいえない
6．本学の求人・就職支援活動を知らない　7．その他（　　）

（2）今後の本学卒業生について、求人・採用をどのようにお考えですか。(○印：1つ)

1．今後も積極的に求人・採用をしていきたい　2．他大学と同じように求人・採用を考えていく
3．求人・採用をしていく予定はない　4．採用は個人本位であり、何ともいえない
5．その他（　　）

（3）今後の本学の教育（ビジネス系を中心に）で、学生に身につけさせるべき資質・能力等として望ましいものについて、とくに重要だと思われるものを、各項目ごとに選択してください。
(各設問、○印：5つまで)

a．社会人基礎力について　1．主体性　2．実行力　3．規律性　4．柔軟性
5．働きかけ力　6．状況把握力　7．課題発見力　8．計画力
9．創造性　10．発信力　11．傾聴力　12．ストレスコントロール力
13．その他（　　）

b．専門的技能について　1．接遇マナー　2．ワープロ操作　3．表計算ソフトの利用
4．データベースの利用　5．インターネットの利用
6．電子メールの利用　7．IT 関連機器の操作能力
8．ホームページ制作の知識　9．情報セキュリティに関する知識
10．簿記会計　11．希望職種についての専門知識
12．その他（　　）

c．その他　1．職業観　2．コミュニケーション能力　3．チャレンジ精神　4．応用力
5．忍耐力　6．人間性　7．身だしなみや言葉遣い　8．細かな気配りや思いやり
9．一般常識　10．基礎的な国語力　11．英会話等語学力
12．時事(ニュース)の理解力　13．経済・会計に関する知識　14．リスクマネジメント
15．コンプライアンス　16．サークル活動参加　17．ボランティア活動参加
18．その他（　　）

（4）本学では、教育・就職支援の一環として、「インターンシップ」「学内事業所ガイダンス」「企業人による講話」等を実施しておりますが、貴社(事業所)にご協力をお願いすることが可能かどうかについて、お聞かせください。　**（○印：いくつでも）**

1．本学の「インターンシップ」（企業研修）を受け入れてもよい。
2．「インターンシップ」についての具体的な話を聞きたい。
3．「学内事業所ガイダンス」に、講師として協力してもよい。
4．「企業人による講話」の講師として、協力してもよい。
5．「就職、企業、仕事」などについて、学生への説明（話）をしてもよい。
6．その他（ご協力いただけることがありましたら、ご記入ください。）
（　　）

※上記内容にご協力いただける場合、お手数ですが、ご連絡先をご記入ください。

ご担当者部署（　　）　ご担当者名（　　）

（5）本学の卒業生（学生）、就職支援活動、教育、その他全般につきまして、どのようなことでも結構ですので、ご意見、ご要望を自由にお書きいただければ幸いです。

①本学の卒業生（学生）について
②本学の就職支援活動について
③本学の教育、その他全般について

ご多忙のところ、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

「大学教育・学生支援推進事業」学生支援プログラム（平成２１年度）
めざそう＜平成の篤姫＞！－鹿児島発社会人力養成プログラム－　の実施について

本年度の補助事業実施計画⑦（資料２　参照）に関連して、キャリアカウンセラー資格（ＣＤＡ）の取得者増をめざすため、ＣＤＡ養成講座の受講生２名を公募する（対象　本学教職員）

理由

・ＣＤＡ取得者増を目指すことで、教職員の進路支援に関する資質能力を高め、学生相談の信頼性と学生への指導力の向上を図る。
・学生の多様なニーズに対応する相談体制を強化し、進路支援体制の一層の充実を図る。
・公募することで教職員の意欲を喚起するとともに、学ぶ機会の公平性を期する。

希望者は、9月末日までに教養学科長に申し出る

（資料１）

１．ＣＤＡについて

ＣＤＡ（キャリア・デベロップメント・アドバイザー）は、日本国内でキャリアカウンセリングを行う実務家のための認定資格。２０００年６月より資格認定がスタートし、現在では厚生労働省のキャリア形成促進助成金指定試験にも指定されている。（ＪＣＤＡホームページ）

２．資格取得について

指定の養成講座（通信講座＋通学講座）を終了し、下記の試験に合格することが必要。

【通信講座】

テキスト６冊、通信添削３回

【通学講座】

1年に3回開講される。直近の講座は2月～4月　隔週土日（8日間）

いずれも　９：００～１８：３０

【１次試験】　1年に3回実施。直近は　２０１０年６月２０日

学科（筆記）試験／90分／（ＣＤＡが習得すべき12の能力の基礎知識）

出題形式‥‥多肢選択式（4肢択一）50問、記述式2問、論述式1問（400字～800字程度）

合格率　45～50％

講座受講後　5年間は受験資格有

【２次試験】　1年に3回実施。直近は　２０１０年８月２１日または２２日

実技（面接・ロールプレイング）試験／約60分（試験説明時間を含む）

合格率　45～50％

1次試験合格後2年間は受験資格有

（資料２）

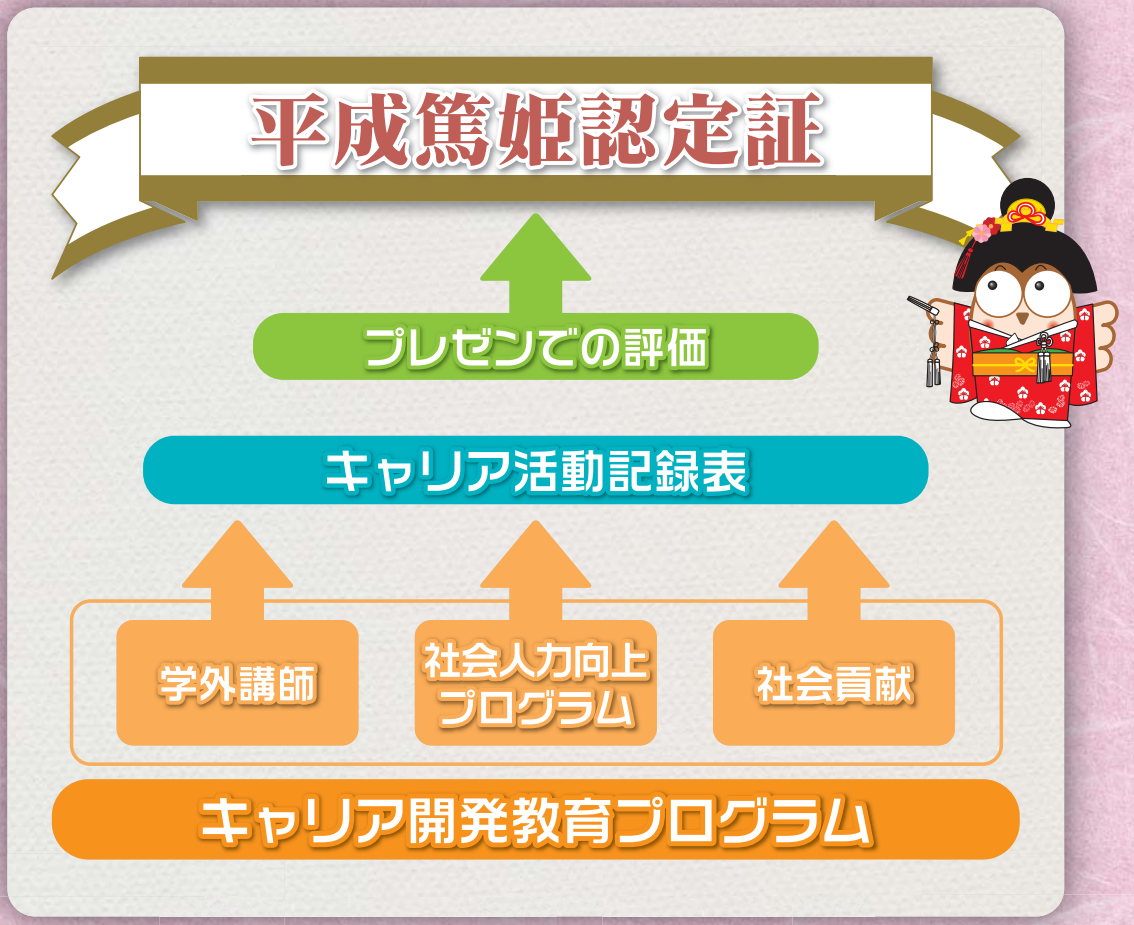
本年度の補助事業実施計画

①９月～１２月　「平成篤姫認定証」発行へ向けた教育プログラムの構築
②９月～１月　就職活動支援のための情報システム構築
③９月～３月　外部評価体制の確立
④１０月～　２月　学外講師による授業・講演会の実施
⑤１０月～　３月　保護者、同窓会、地域社会との連携による支援システムの基盤作り
⑥１０月～　３月　保護者会の強化
⑦１０月～　３月　進路支援のための講習会、研修会への参加
⑧１１月～　２月　事業所訪問の強化、事業所ガイダンスと模擬面接会の実施
⑨１１月～　３月　先行大学等視察による情報収集・プロジェクトに関連する各種研修会等への参加
⑩２月　卒業生に対するアンケート調査の実施
⑪３月　アンケート集計及び事業報告書の作成

めざそう「平成の篤姫」！

ー鹿児島発社会人力養成プログラムー

平成21年度 文部科学省採択　「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム



- 就職情報検索システム構築
- 地域社会及び保護者との連携
- 教職員のキャリア教育への資質向上
- 卒業生・同窓会との意見交換連携促進

鹿児島女子短期大学　教養学科

めざそう「平成の篤姫」！Q&A

ー鹿児島発社会人力養成プログラムー

Q1 「平成篤姫認定証」とは、どのようなものですか？

21 世紀を強く生き抜く理想の女性像を「平成の篤姫」と名づけました。「平成篤姫認定証」は、現代社会から求められる能力を修得したことの証明です。教養学科が独自に開発した「社会人力養成プログラム」を修了すると取得できます。

Q2 「平成篤姫認定証」を取得すると、どんなメリットがありますか？

就職活動の際に役立ちます。認定証取得を目指すことで、自然に就職基礎能力（→ Q3）が身につきます。取得の過程を「キャリア活動記録表」に記録しますので、就職活動に不可欠な「履歴書・エントリーシート」や「面接」対策に、そのまま活用できます。

Q3 社会人力向上プログラムとは何ですか？

企業が若者の就職に関して特に重視している「コミュニケーション能力」「職業人意識」「基礎学力」「ビジネスマナー」といった就職基礎能力の修得を支援するプログラムです。
教養学科の必修科目の中で取り組みます。

Q4 学外講師について教えてください。

地元企業や社会の第一線で活躍するさまざまな業種・職種の方々に講師をお願いします。
実社会への理解を深め、進路選択の幅を広げることにつながるでしょう。
また、ビジネスマナーやメークアップ、企業の人事担当者による模擬面接会などを体験し、就職試験に備えます。

Q5 求人情報検索システムとは、どのようなものですか？

短大に来た求人票を、携帯電話で検索することができるようにして、皆さんの就職活動を支援します。学内のパソコンからは、さらに詳細な情報を得ることができます。

Q6 教養学科のキャリア支援はどのようになっていますか？

ホーム担任が中心となって、学生一人ひとりに応じたきめ細かい支援を行っています。
本学教職員は、支援の能力を向上させるため研修を受けるなど常に努力していますが、今後、キャリアカウンセラーの数を増やし、さらに充実した支援ができるようにします。（現在カウンセラーは３名。うち２名は教養学科教員）

めざそう「平成の篤姫」！

ー鹿児島発社会人力養成プログラムー

平成21年度 文部科学省採択 「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム

教養学科独自のキャリア教育プログラムを開発

社会人基礎力を身につけるための科目を受講し、所定の要件を満たすと**「平成篤姫認定証」**を取得することができます。認定証取得の過程を記録する「キャリア開発記録表」は、**就職活動**に不可欠な「履歴書・エントリシート」や「面接」対策に、そのまま**活用**できます。

「短大」と「社会」をつなぐ講演会の実施

地元企業や社会の第一線で活躍するさまざまな業種・職種の方々の講演会を多数実施します。**実社会への理解**を深め、**進路選択の幅を広げる**ことにつながるでしょう。

事業所ガイダンス

地元企業と語る会

就職活動支援講座の実施

リクルートファッション・メイク講座や面接マナー講座などを実施し、**就職活動を支援**しています。

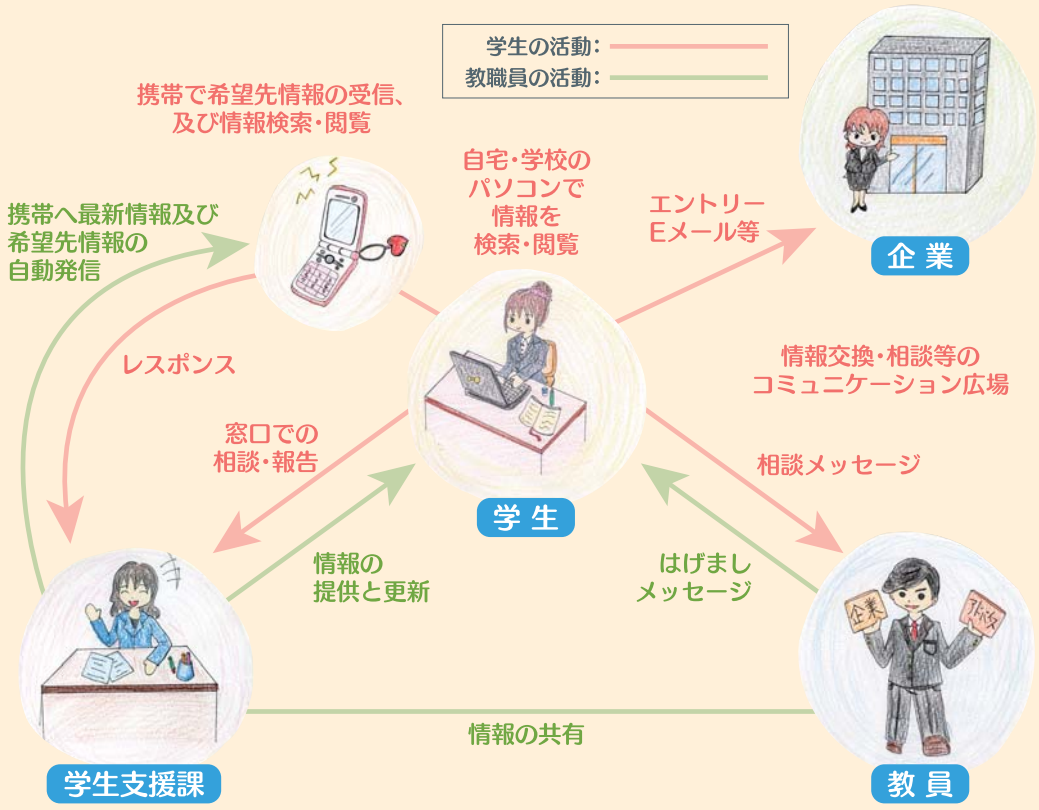
ファッションメイク講座

鹿児島女子短期大学　教養学科

就職情報検索システムの構築

携帯電話を使って、いつでもどこでも就職情報を**検索**できるシステムを作りました。学内パソコンからは、さらに詳しい情報を得ることができます。

キャリア支援のための双方向ネットワークシステム



【特徴】

○就職希望条件（職種、地域等）を事前に登録しておくと、本学に届いた求人情報の希望条件に合致した就職情報がメールで届きます。

○最新の就職情報を自宅のパソコンや携帯電話で確認できます。

○掲示板を利用して情報の共有ができます。

○教員と学生支援課が情報を共有することにより、きめ細かなサポートが可能になります。

キャリア支援の強化

ホーム担任、**学生支援課**が中心となって一人ひとりに応じたきめ細かな支援を行っています。それに加えて、３名の**キャリアカウンセラー**、ハローワーク出身の**就職アドバイザー**が、進路相談や職場開拓をし、支援体制の強化を図っています。

2010年度鹿児島女子短期大学
卒業生アンケート調査結果報告

2010 年度 鹿児島女子短期大学卒業生アンケート調査結果報告

1. 調査目的

本学教養学科では、平成 21 年度文部科学省学生支援推進プログラム補助事業の採択を受けて、学生の現代社会から求められる能力を身につけることを目的とした「めざそう＜平成の篤姫＞！～鹿児島発社会人力養成プログラム～」を実施している。そのプログラムの一環として、本学卒業生の卒業後の就業状況等を調査することによって、今後の本学の学生支援体制の改善に資することを目的とした。

2. 調査概要

○調査対象：鹿児島女子短期大学卒業生

○調査期間：2010 年２月９日から 2010 年３月５日

○調査方法：

平成 17 年度発行同窓会「すみれ会」名簿記載住所、卒業時の保護者住所に対する調査票の郵送及び郵送回収

○送付数：5,395 通（うち、499 通が未達返却）

○調査回収率：有効回答 394 サンプル（回収率：8.05％）

○回答者属性（単位：名）：

学科別：児童教育学科（153）・生活科学科（84）・家政学科（46）・教養学科（110）

卒業年度別：S56 年（84）・S61 年（70）・H3 年（36）・H8 年（63）・H13 年（31）・H14（4）・H15 年（5）・H16 年（5）・H17 年（11）・H18 年（36）・H19 年（7）・H20 年（34）・未記入（8）

(1) 現在の就業状況について

1. 短大卒業直後の就職先からの転職経験の有無と現在の勤務年数

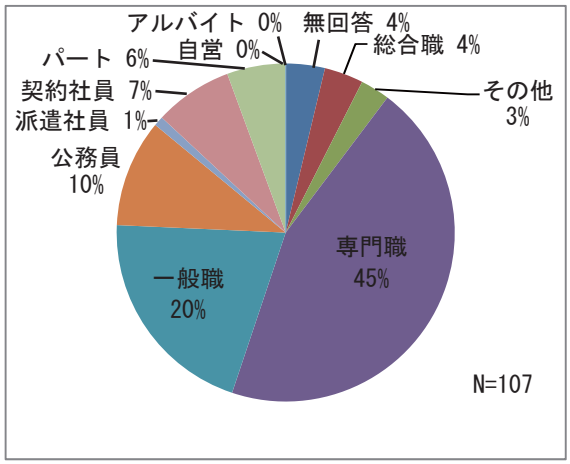


図 1：短大卒業後の就職先に継続勤務している人の勤務形態（単数回答）

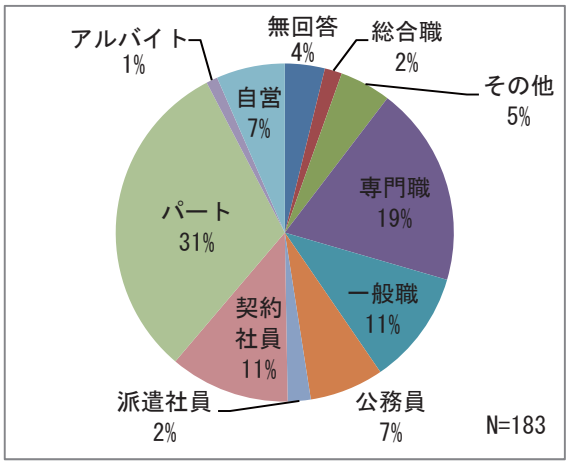


図 2：短大卒業後の就職先から転職した人の勤務形態（単数回答）

このデータから、転職を期に専門職の割合が大幅に低下し、「パート」や「派遣社員」といった非正規雇用の割合が大幅に増えていることがわかる。

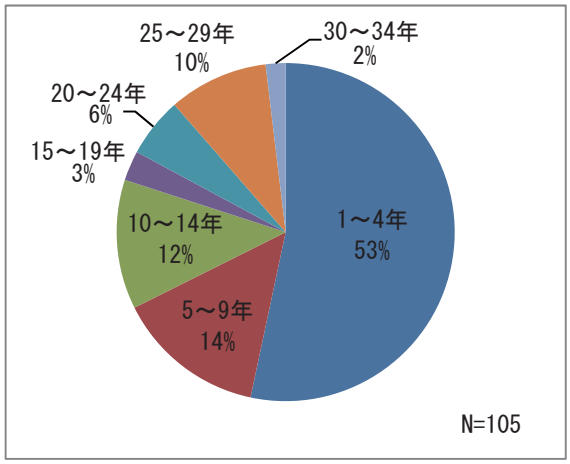


図 3：短大卒業後の就職先に継続勤務している人の現在の勤務形態（単数回答）

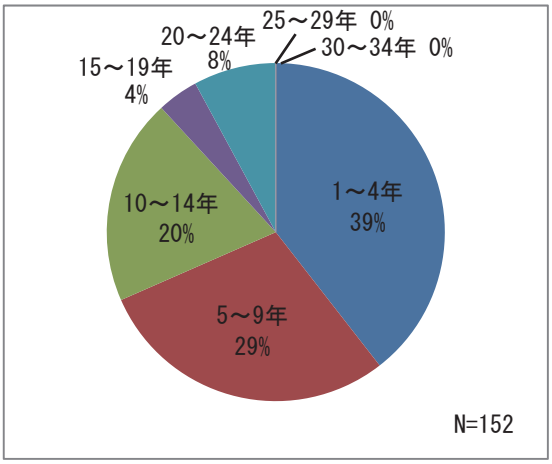


図 4　短大卒業直後の就職先から転職した人の勤続年数（単数回答）

2. 現在の職種と働く理由

表１：現在の職種と働く理由のクロス表

			働く理由												
			収入	家計維持	社会との接点	仕事は当然	仕事好き	知識を活かす	経済的自立	家業だから	友人を得たい	育児一段落	することがない	その他	合計
職種	小学校教員	度数	2	5	4	2	6	2	1	0	0	0	0	1	8
		%	25.0%	62.5%	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	12.5%	.0%	.0%	.0%	.0%	12.5%	
	中学校教員	度数	1	2	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	
	養護教員	度数	1	2	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	66.7%	.0%	66.7%	33.3%	33.3%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	
	司書・司書補	度数	2	2	4	2	1	1	0	0	0	1	0	0	5
		%	40.0%	40.0%	80.0%	40.0%	20.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	.0%	.0%	
	幼稚園教諭	度数	10	1	4	6	6	6	2	0	0	0	0	0	13
		%	76.9%	7.7%	30.8%	46.2%	46.2%	46.2%	15.4%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	
	保育士	度数	31	28	15	10	19	22	10	0	2	11	0	2	56
		%	55.4%	50.0%	26.8%	17.9%	33.9%	39.3%	17.9%	.0%	3.6%	19.6%	.0%	3.6%	
	栄養士	度数	22	9	10	11	8	11	12	1	1	1	1	0	32
		%	68.8%	28.1%	31.3%	34.4%	25.0%	34.4%	37.5%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	.0%	
	介護福祉士	度数	8	5	4	3	2	3	4	1	1	0	0	1	13
		%	61.5%	38.5%	30.8%	23.1%	15.4%	23.1%	30.8%	7.7%	7.7%	.0%	.0%	7.7%	
	ホームヘルパー	度数	2	3	3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4
		%	50.0%	75.0%	75.0%	.0%	.0%	25.0%	.0%	.0%	25.0%	.0%	25.0%	.0%	
	公務員	度数	4	7	6	2	2	4	4	0	1	0	0	1	12
		%	33.3%	58.3%	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	.0%	8.3%	.0%	.0%	8.3%	
	事務	度数	33	33	21	18	11	3	12	6	5	6	2	2	57
		%	57.9%	57.9%	36.8%	31.6%	19.3%	5.3%	21.1%	10.5%	8.8%	10.5%	3.5%	3.5%	
	販売	度数	11	10	4	5	7	3	3	2	2	0	3	0	20
		%	55.0%	50.0%	20.0%	25.0%	35.0%	15.0%	15.0%	10.0%	10.0%	.0%	15.0%	.0%	
	保安・サービス	度数	1	4	3	0	0	1	1	1	0	0	0	0	5
		%	20.0%	80.0%	60.0%	.0%	.0%	20.0%	20.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	
	農林漁業	度数	1	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	.0%	33.3%	33.3%	.0%	.0%	66.7%	.0%	.0%	.0%	.0%	
	製造業	度数	0	7	2	0	2	0	1	0	1	3	0	1	7
		%	.0%	100.0%	28.6%	.0%	28.6%	.0%	14.3%	.0%	14.3%	42.9%	.0%	14.3%	
	その他	度数	19	15	13	7	10	10	6	3	3	4	2	3	36
		%	52.8%	41.7%	36.1%	19.4%	27.8%	27.8%	16.7%	8.3%	8.3%	11.1%	5.6%	8.3%	
合計		度数	148	135	96	68	78	69	59	16	17	26	9	11	277

全体的に、「収入のため」、「家計維持のため」、「経済的自立のため」と、経済的な理由が圧倒的に多いことが分かる。一方で、「社会との接点」が動機となっているのは、総数は少ないが、教員、ホームヘルパーが割合としては高くなっている。更には、「仕事が好きだから」という理由では、小学校教員や養護教員など、いわゆる難関突破する職種に見受けられる。

3. 現在の職種と会社選びのポイント

表 2：現在の職種と会社選びのポイントのクロス表

会社選びのポイント	職種															
	小学校教員	中学校教員	養護教員	司書・司書補	幼稚園教諭	保育士	栄養士	介護福祉士	ヘルパー	公務員	事務	販売	保安・サービス	農林漁業	製造業	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
やりたい仕事	100.0%	66.7%	100.0%	40.0%	76.9%	76.8%	56.3%	38.5%	.0%	41.7%	47.4%	45.0%	80.0%	33.3%	57.1%	52.8%
短大の専門・専攻を活かせる	.0%	.0%	33.3%	60.0%	23.1%	30.4%	34.4%	15.4%	50.0%	8.3%	12.3%	15.0%	.0%	.0%	28.6%	11.1%
自分の能力を活かせる	50.0%	66.7%	100.0%	20.0%	46.2%	37.5%	34.4%	15.4%	50.0%	41.7%	28.1%	35.0%	40.0%	.0%	14.3%	50.0%
希望のコース(総合職など)	.0%	.0%	.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%
やりがいがある	50.0%	33.3%	.0%	40.0%	53.8%	44.6%	31.3%	46.2%	25.0%	41.7%	40.4%	40.0%	20.0%	66.7%	28.6%	44.4%
国際的な仕事である	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	33.3%	.0%	.0%
男女差がない	12.5%	.0%	.0%	.0%	.0%	1.8%	.0%	.0%	.0%	16.7%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	2.8%
長く働ける	.0%	33.3%	33.3%	.0%	7.7%	5.4%	9.4%	23.1%	25.0%	33.3%	22.8%	20.0%	40.0%	33.3%	28.6%	16.7%
給与・昇給が良い	12.5%	.0%	.0%	.0%	15.4%	21.4%	9.4%	7.7%	.0%	25.0%	15.8%	15.0%	.0%	.0%	.0%	13.9%
休日日数・勤務時間などの労働条件が良い	12.5%	66.7%	.0%	20.0%	38.5%	28.6%	37.5%	30.8%	50.0%	58.3%	43.9%	25.0%	60.0%	.0%	57.1%	22.2%
安定した企業	50.0%	.0%	.0%	20.0%	15.4%	12.5%	15.6%	15.4%	25.0%	.0%	31.6%	20.0%	.0%	.0%	57.1%	8.3%
将来性のある企業・業種	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.6%	12.5%	.0%	.0%	.0%	3.5%	10.0%	.0%	.0%	.0%	11.1%
女性を活用する社風	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	2.8%
社会的貢献度が高い	12.5%	.0%	.0%	20.0%	.0%	1.8%	.0%	23.1%	25.0%	8.3%	3.5%	.0%	.0%	.0%	.0%	5.6%
仕事のための施設・設備が良い	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	1.8%	3.1%	7.7%	.0%	8.3%	.0%	.0%	.0%	33.3%	.0%	.0%
通勤の便が良い	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	10.7%	15.6%	7.7%	25.0%	.0%	15.8%	30.0%	.0%	.0%	.0%	5.6%
住宅手当・寮などの条件が良い	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	5.0%	.0%	.0%	.0%	.0%
福利厚生が充実している	.0%	.0%	33.3%	40.0%	15.4%	16.1%	12.5%	23.1%	25.0%	.0%	19.3%	30.0%	20.0%	33.3%	14.3%	25.0%
母性保護の制度が充実している	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	7.7%	.0%	.0%	.0%	5.0%	.0%	.0%	.0%	5.6%
OGの印象が良い	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.1%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	14.3%	.0%
そ の 他	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	3.1%	7.7%	.0%	.0%	1.8%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%

職種、会社選定理由としては圧倒的に「やりたい仕事」をポイントとしている場合が多い。また、「自分の能力を活かせる仕事」も複数の職種で多く見られる。自分の興味や特性を生かせる職種を望むという点では、仕事をする上で自己達成感が得られることを重視していることが伺える。一方で、「労働条件が良い」という、ところでは、仕事以外の時間を充実させたいという希望、もしくは、家事や育児状況などの環境が関連していることが考えられる。

4. 短大卒業直後の就職先からの転職経験の有無と会社選びのポイント

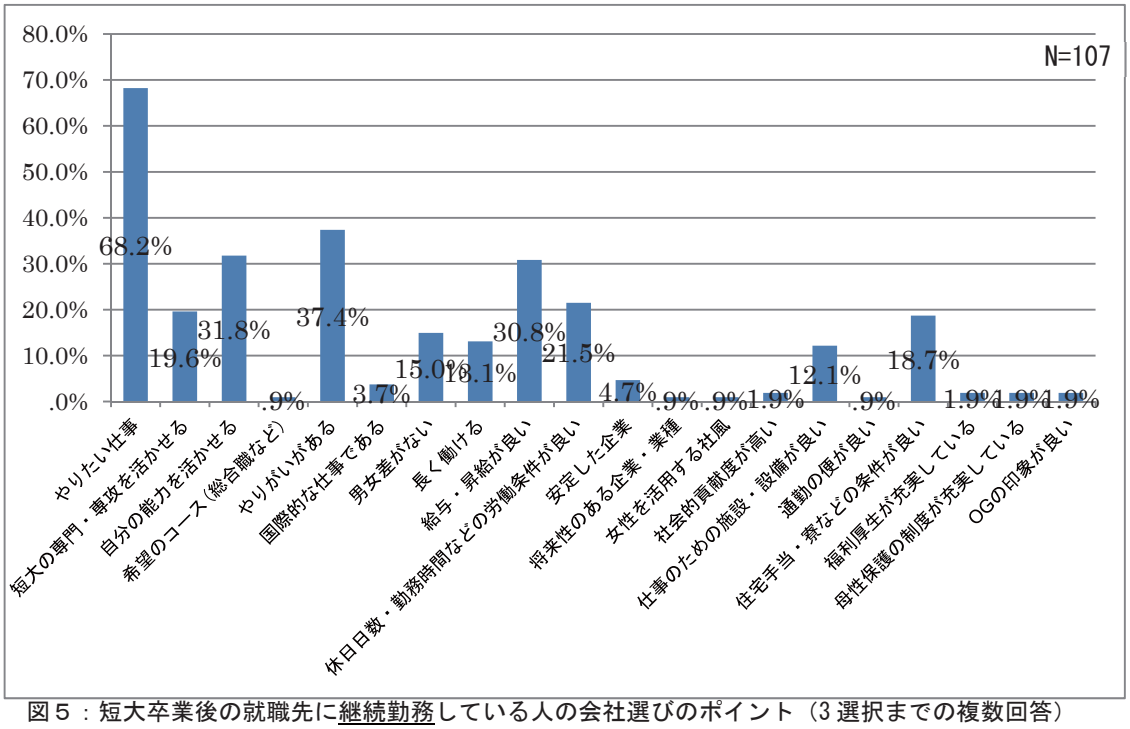


図５：短大卒業後の就職先に継続勤務している人の会社選びのポイント（3 選択までの複数回答）

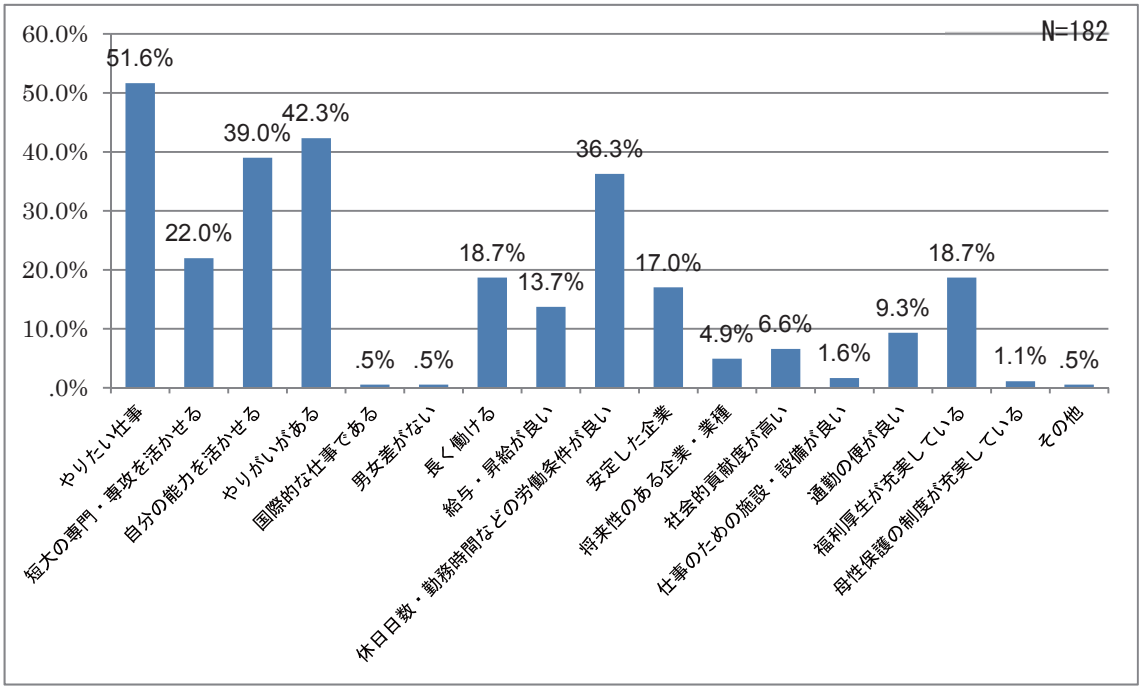


図６：短大卒業直後の就職先から転職した人の会社選びのポイント（3 選択までの複数回答）

図５と図６は、卒業後継続勤務した群と、転職した群とで、それぞれ会社選びのポイントを比較したものである。この２つの群に、全体的な会社選定傾向の差は見られないが、転職をした群は「休日日数・勤務時間」等の労働条件を比較的重視していることが分かる。

(2) 就職活動支援の体制について

1. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大の就職支援に対する満足度

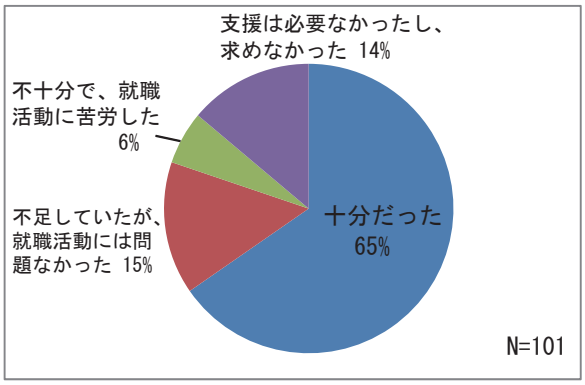


図 7：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の短大就職支援満足度（単数回答）

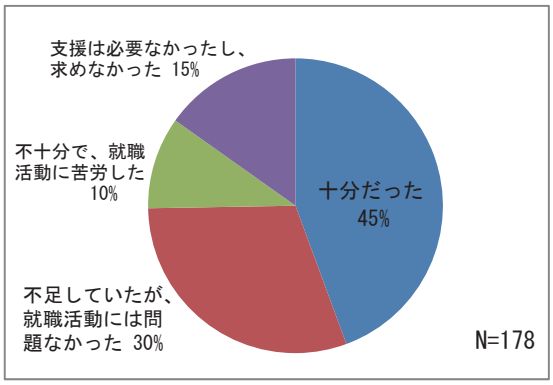


図 8：短大卒業直後の就職先から転職した人の短大就職支援満足度（単数回答）

全体的に、短大の就職支援の満足度としては、概ね肯定的である。なお、卒業後の転職の有無と短大の就職支援に対する満足度のクロス分析及びカイ二乗検定を行った結果、転職経験者と継続勤務者の短大の就職支援満足度（肯定的な評価）の間に統計的な有意差が認められた（$p>0.05$）。

2. 就職活動の悩みなどを友達、担任、学生支援課（旧就職課）等に相談しましたか。

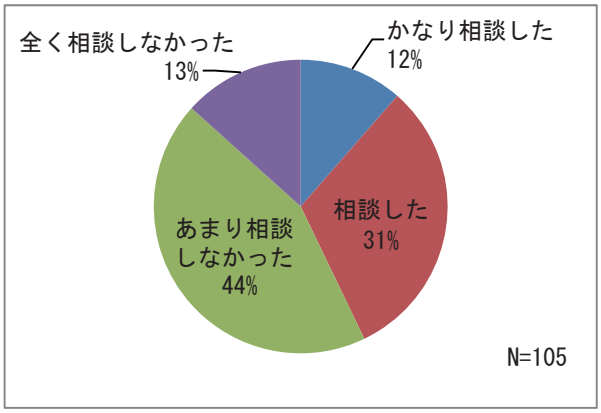


図 9：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の就職相談の程度（単数回答）

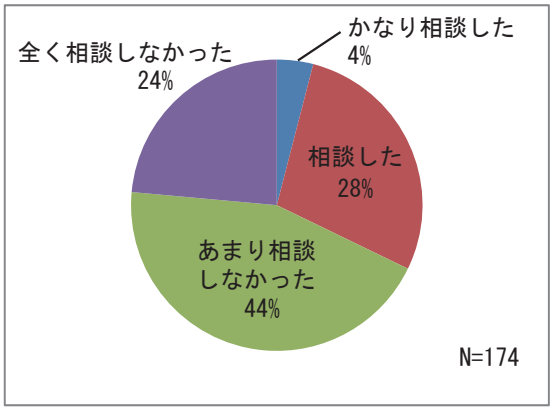


図 10：短大卒業直後の就職先から転職した人の就職相談の程度（単数回答）

具体的な相談状況としては、「あまり相談しなかった」が半数近く、また、「全く相談しなかった」も 7、8 人に 1 人の割合でみられ、就職相談の活用は十分になされていたとは言えない。

3.　一番相談した相手は誰ですか。

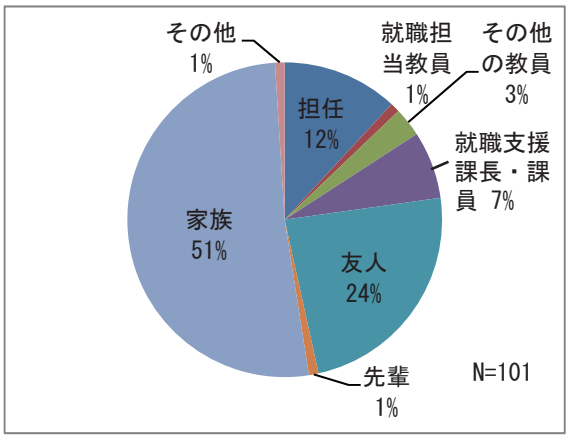


図 11：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の就職相談の相手（単数回答）

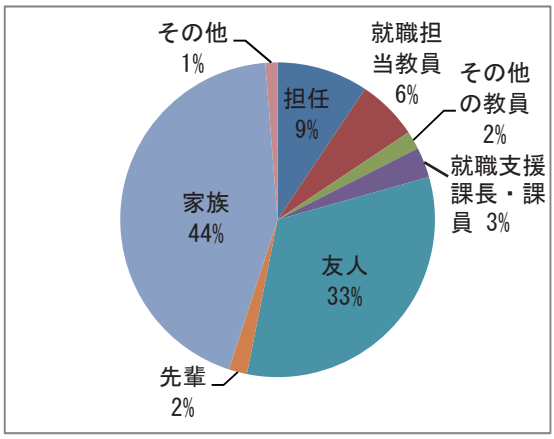


図 12：短大卒業直後の就職先から転職した人の就職相談の相手（単数回答）

就職活動において、日常場面で誰に相談するかは、非常に重要なことである。家族が最も多いことを踏まえると、就職支援活動の範囲として、相談相手である家族への情報提供や、短大との連携（保護者会の充実等）を含めていく必要がある。ただし、本データからは、「就職相談」の中身を読み取ることは出来ない。一般的に、就職先や業種の決定については家族の比重が大きく、実際の就職活動を進めていく上での技術的な悩みについては友人や短大の役割が大きいものと推察される。より、学生のニーズに対応した就職支援体制が必要であろう。

4.　短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大の就職支援における重要ポイント

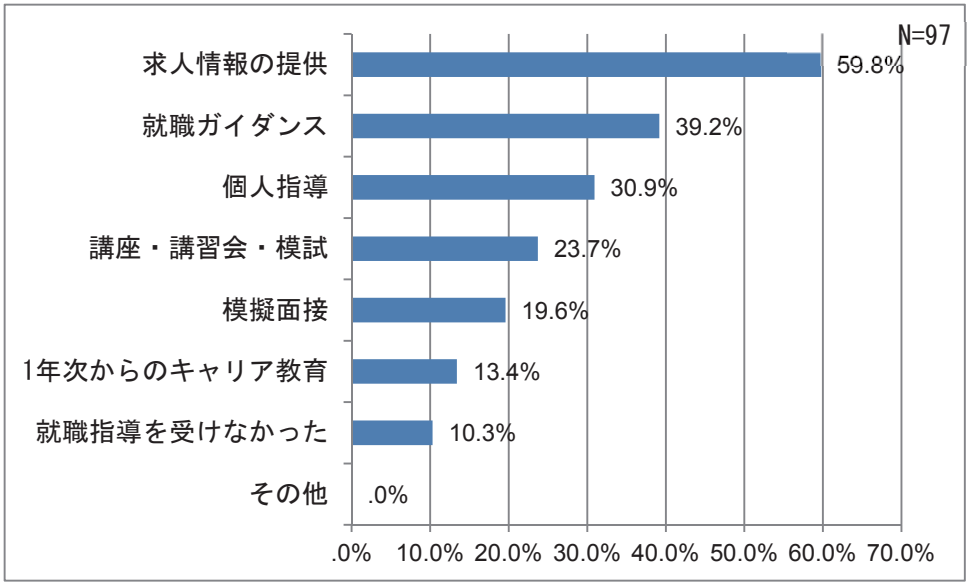


図 13：継続勤務している人の短大の就職支援におけるポイント（3 選択までの複数回答）

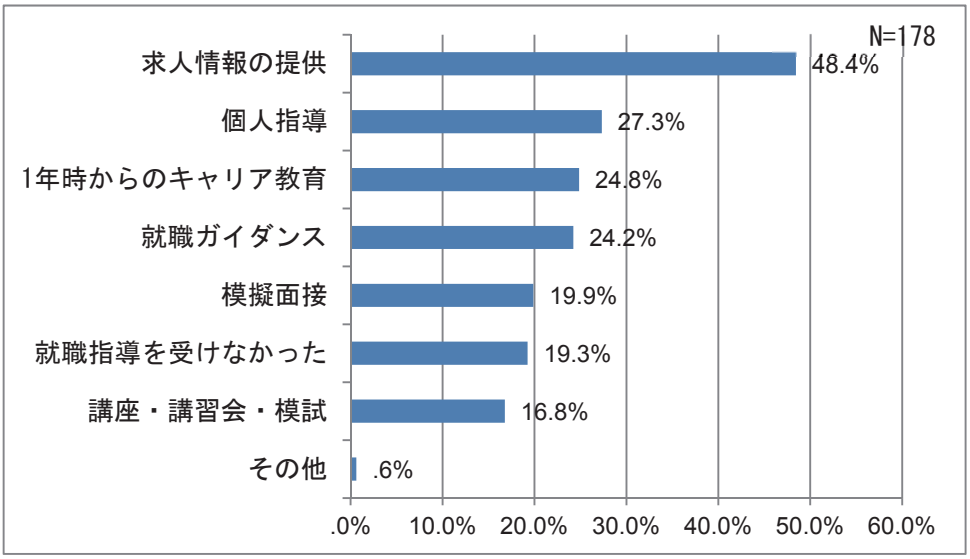


図 14：転職した人の短大の就職支援における重要ポイント（3 選択までの複数回答）

求人情報の提供は、就職支援課の時代から主な支援活動であり、それが最も重要だと見なされていたことは、短大側の供給と、職を求める卒業生との需要とがうまく合致していたからであろう。就職ガイダンスや講座、講習会が卒業生側からも重要視されていた事実は、今後のキャリア教育を実施していく上での大きな示唆である。現在の本学の就職支援及び教育内容は、一年次からのキャリア教育という観点から改善を行っている。その点では、転職グループの回答に特に多くみられた一年次からのキャリア教育に関する卒業生からの実感からも、その重要性が支持されるものであることが窺える。

（3）短大卒業者の就職後の状況

1. 短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の就職経緯と転職者の再就職の経緯

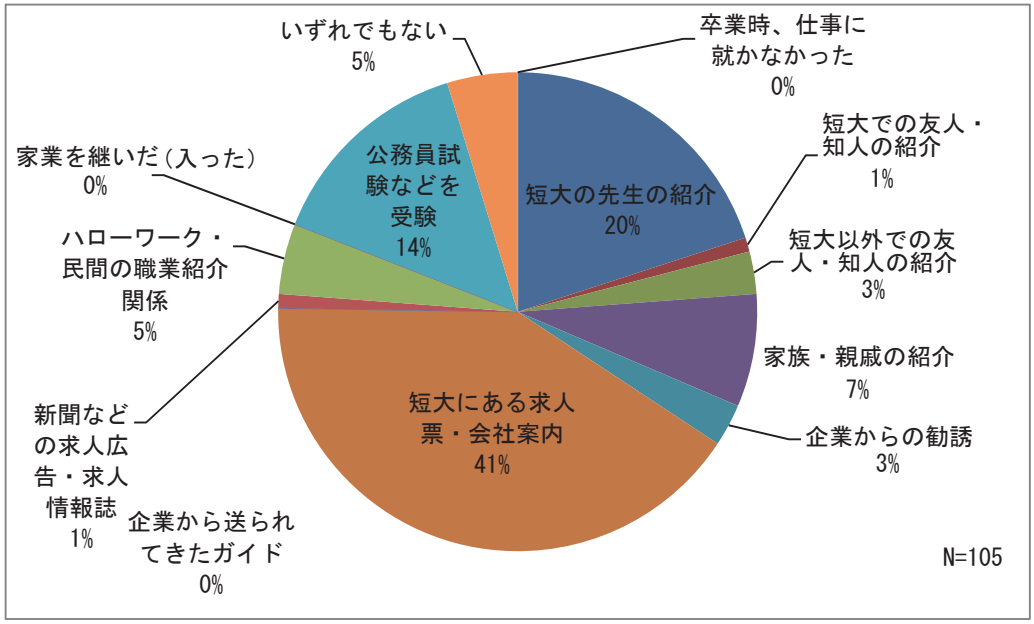


図 15：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の就職経緯（単数回答）

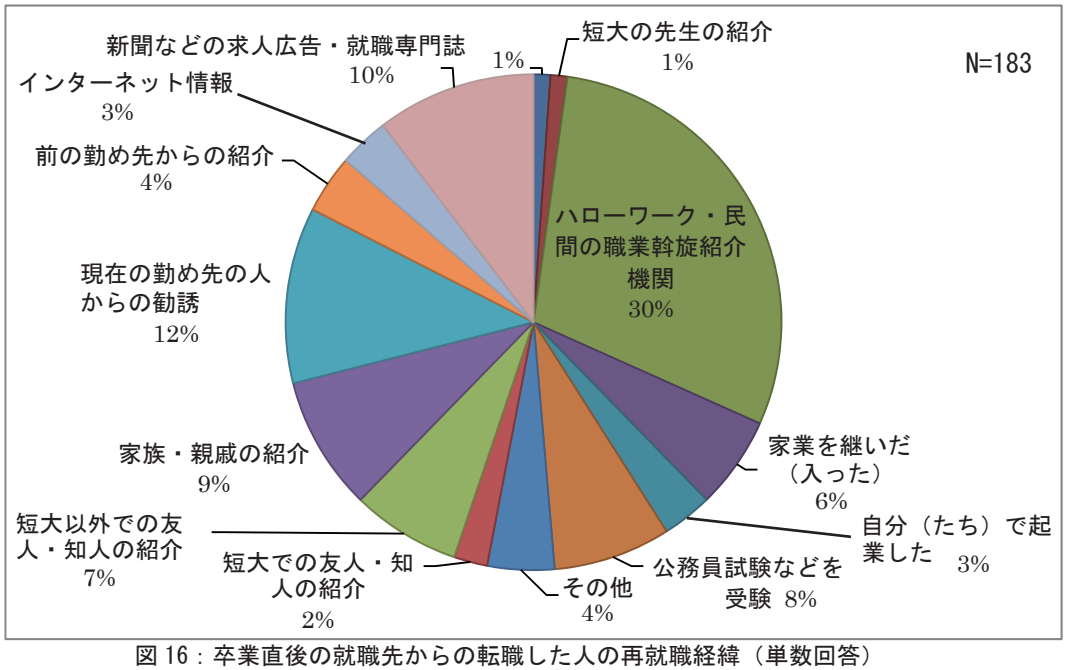


図 16：卒業直後の就職先からの転職した人の再就職経緯（単数回答）

回答者の数では、卒業後、転職している者の方が多い。その際、短大として卒業生の就業支援をどの程度行うかは、今後の検討課題でもあるだろう。以下に、転職組の属性や経緯をデータとして示す。

2. 短大卒業直後の就職先から転職した人の最初の勤務年数と職種

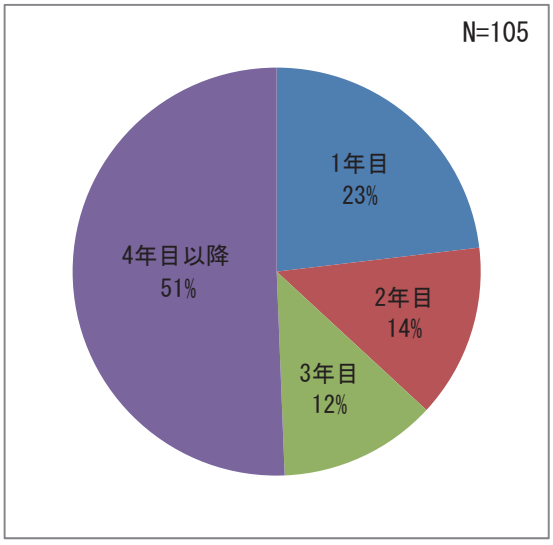


図 17：短大卒業直後の就職先から転職した人の最初の勤務年数（単数回答）

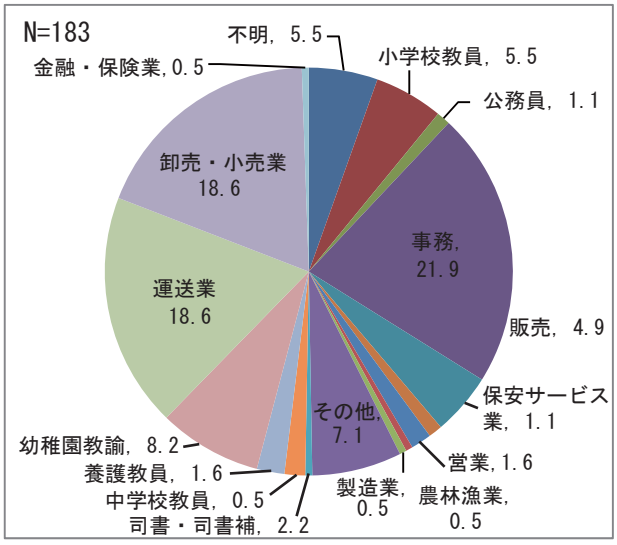


図 18：短大卒業直後の就職先から転職した人の卒業直後の職種（単数回答）

3.　短大卒業直後の職種と仕事を辞めるまでの勤続年数

表 3：短大卒業直後の職種と仕事を辞めた時期

			仕事を辞めた時期				合計
			1年目	2年目	3年目	4年目以降	
職種	小学校教員	度数	0	0	1	6	7
		%	.0%	.0%	14.3%	**85.7%**	100.0%
	中学校教員	度数	0	0	0	1	1
		%	.0%	.0%	.0%	**100.0%**	100.0%
	養護教員	度数	0	1	1	3	5
		%	.0%	20.0%	20.0%	**60.0%**	100.0%
	司書・司書補	度数	0	0	1	4	5
		%	.0%	.0%	20.0%	**80.0%**	100.0%
	幼稚園教諭	度数	3	4	3	18	28
		%	10.7%	14.3%	10.7%	**64.3%**	100.0%
	保育士	度数	4	3	9	30	46
		%	8.7%	6.5%	19.6%	**65.2%**	100.0%
	栄養士	度数	12	8	3	18	41
		%	29.3%	19.5%	7.3%	**43.9%**	100.0%
	介護福祉士	度数	1	1	1	2	5
		%	20.0%	20.0%	20.0%	**40.0%**	100.0%
	公務員	度数	0	0	0	2	2
		%	.0%	.0%	.0%	**100.0%**	100.0%
	事務	度数	11	3	11	40	65
		%	16.9%	4.6%	16.9%	**61.5%**	100.0%
	販売	度数	2	5	1	5	13
		%	15.4%	**38.5%**	7.7%	**38.5%**	100.0%
	保安・サービス	度数	1	2	0	1	4
		%	25.0%	**50.0%**	.0%	25.0%	100.0%
	営業	度数	2	0	0	1	3
		%	**66.7%**	.0%	.0%	33.3%	100.0%
	農林漁業	度数	0	1	0	0	1
		%	.0%	**100.0%**	.0%	.0%	100.0%
	製造業	度数	1	0	0	0	1
		%	**100.0%**	.0%	.0%	.0%	100.0%
	その他	度数	8	3	2	12	25
		%	32.0%	12.0%	8.0%	**48.0%**	100.0%
合計		度数	45	31	33	143	252
		%	17.9%	12.3%	13.1%	56.7%	100.0%

営業、農林漁業では 1～2 年目に離職した割合が高いものの、数としては極めて限定的である。全体の傾向として、4 年目以降での離職割合が高く、短大卒業後の就職先に比較的長期間勤務している。

4. 短大卒業直後の職種と退職理由

表４：卒業直後の職種と退職理由

			退職理由																			
			仕事内容が予想と違った	会社の業務内容が予想と違った	適正に疑問を持った	労働時間での不満	収入面での不満	職場の人間関係	結婚のため	出産・育児のため	家族のため	家族の反対	キャリアの限界	期限付きの採用	人員整理・倒産	転勤のない職場で働きたい	会社の成長力・将来性	実力主義・能力主義の会社で働きたい	専門性やスキルを高めたい	ステップアップのため	その他	合計
職種	小学校教員	度数	0	0	0	0	0	1	3	1	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	6
		%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	16.7%	50.0%	16.7%	33.3%	.0%	.0%	16.7%	.0%	16.7%	.0%	.0%	16.7%	.0%	16.7%	
	中学校教員	度数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		%	.0%	.0%	100.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	
	養護教員	度数	0	0	1	0	0	1	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	5
		%	.0%	.0%	20.0%	.0%	.0%	20.0%	60.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	
	司書・司書補	度数	0	0	0	1	1	0	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
		%	.0%	.0%	.0%	20.0%	20.0%	.0%	80.0%	20.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	
	幼稚園教諭	度数	1	1	4	7	2	5	14	4	2	0	1	0	1	0	0	1	2	3	2	29
		%	3.4%	3.4%	13.8%	24.1%	6.9%	17.2%	48.3%	13.8%	6.9%	.0%	3.4%	.0%	3.4%	.0%	.0%	3.4%	6.9%	10.3%	6.9%	
	保育士	度数	3	1	9	2	1	6	22	7	4	0	1	1	0	0	2	1	1	1	7	47
		%	6.4%	2.1%	19.1%	4.3%	2.1%	12.8%	46.8%	14.9%	8.5%	.0%	2.1%	2.1%	.0%	.0%	4.3%	2.1%	2.1%	2.1%	14.9%	
	栄養士	度数	9	2	7	8	7	11	2	7	3	0	2	0	2	0	1	0	4	5	4	39
		%	23.1%	5.1%	17.9%	20.5%	17.9%	**28.2%**	5.1%	17.9%	7.7%	.0%	5.1%	.0%	5.1%	.0%	2.6%	.0%	10.3%	12.8%	10.3%	
	介護福祉士	度数	0	0	0	1	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		%	.0%	.0%	.0%	25.0%	.0%	.0%	50.0%	50.0%	25.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	
	公務員	度数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	50.0%	50.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	
	事務	度数	6	2	9	4	2	11	27	12	4	0	3	1	1	0	3	1	3	5	7	68
		%	8.8%	2.9%	13.2%	5.9%	2.9%	16.2%	39.7%	17.6%	5.9%	.0%	4.4%	1.5%	1.5%	.0%	4.4%	1.5%	4.4%	7.4%	10.3%	
	販売	度数	2	2	0	2	0	3	4	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	12
		%	16.7%	16.7%	.0%	16.7%	.0%	25.0%	33.3%	8.3%	8.3%	8.3%	.0%	.0%	.0%	.0%	8.3%	.0%	.0%	8.3%	16.7%	
	保安・サービス	度数	1	0	0	2	1	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5
		%	20.0%	.0%	.0%	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	20.0%	
	営業	度数	2	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
		%	66.7%	.0%	66.7%	33.3%	.0%	66.7%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	33.3%	.0%	.0%	
	農林漁業	度数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%	100.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	
	製造業	度数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	**100.0%**	
	その他	度数	3	2	0	5	3	1	9	3	0	0	3	3	0	0	3	0	2	4	5	26
		%	11.5%	7.7%	.0%	19.2%	11.5%	3.8%	34.6%	11.5%	.0%	.0%	11.5%	11.5%	.0%	.0%	11.5%	.0%	7.7%	15.4%	19.2%	
合計		度数	27	10	33	33	18	45	93	40	18	1	11	7	4	1	10	3	14	19	32	254

表３を見ると、短大卒業後の就職４年以降に退職している割合が最も多い。退職理由も「結婚のため」が最も多いことから、ちょうど結婚が転機となり、退職することが多いものと考えられる。ただし、「適正に疑問を持った」・「労働時間での不満」・「職場の人間関係」等、「不満」を理由とした退職理由の割合が全体的に多いことが懸念される。特に、職場での人間関係は一般的にどのような職域や職場においても一定存在する問題であり、キャリア教育での対応が求められる。

(4) 職場選びで重視したこと

1. 短大卒業直後の就職先からの転職経験の有無と志望就職先で最も重視したこと

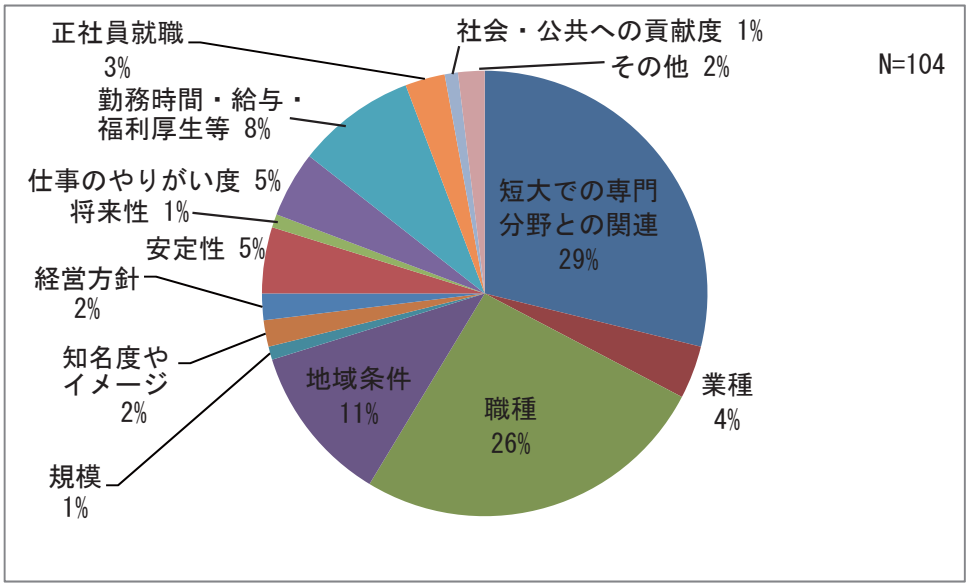


図 19：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の重視したこと（単数回答）

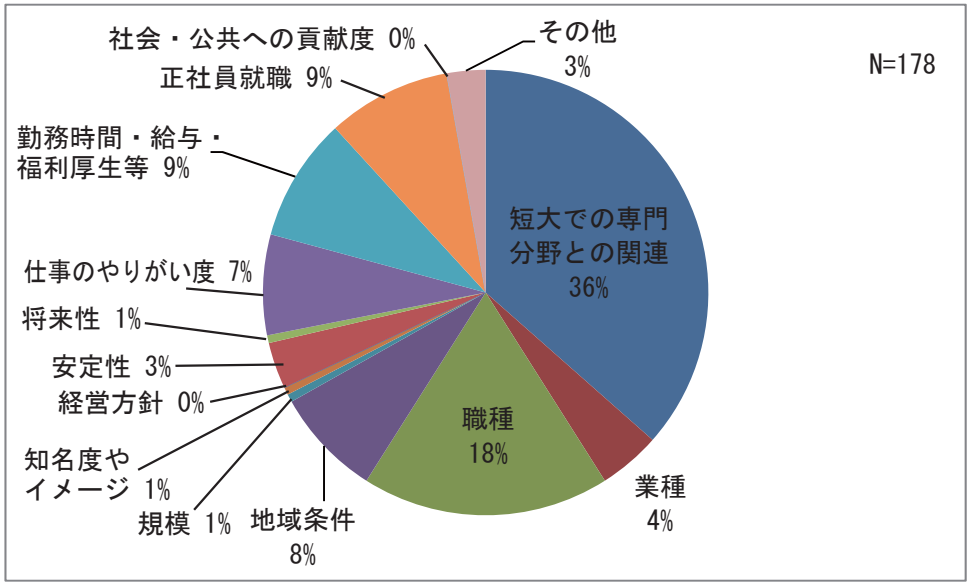


図 20：短大卒業直後の就職先から転職した人の重視したこと（単数回答）

上記２つのグラフを見ても、就職先の重視項目のバランスはほぼ同じである。なお、短大卒業直後の就職先での勤務状況を独立変数、志望就職先の重視項目を従属変数としたクロス分析及びカイ二乗検定を行った結果、両者に統計的に有意な差は確認できなかった。転職経験の有無に関係なく、就職先選定における短大生の重視ポイントは短大での専門分野との関連性と職種であり、今後のキャリア支援体制に反映することが求められる。

2.　働く理由と就職先決定において最も重視したこと

表 5：働く理由と志望就職先を決定するにあたって最も重視した理由

			志望就職先を決定するに当たって最も重視したこと														合計
			短大での専門分野との関連	業種	職種	地域条件	規模	知名度やイメージ	経営方針	安定性	将来性	仕事のやりがい度	勤務時間・給与・福利厚生等	正社員就職	社会・公共への貢献度	その他	
働く理由	自分自身の収入が欲しい	度数	57	6	38	17	2	3	2	10	1	15	24	14	0	1	190
		%	30.0%	3.2%	20.0%	8.9%	1.1%	1.6%	1.1%	5.3%	.5%	7.9%	12.6%	7.4%	.0%	.5%	
	家計の維持や補助に必要	度数	76	10	38	21	2	1	0	8	2	13	13	11	1	3	199
		%	38.2%	5.0%	19.1%	10.6%	1.0%	.5%	.0%	4.0%	1.0%	6.5%	6.5%	5.5%	.5%	1.5%	
	社会とのつながりを持ちたい	度数	50	4	30	10	2	2	1	7	0	9	13	4	1	2	135
		%	37.0%	3.0%	22.2%	7.4%	1.5%	1.5%	.7%	5.2%	.0%	6.7%	9.6%	3.0%	.7%	1.5%	
	仕事に就くのは当然	度数	19	4	14	7	0	0	0	2	1	6	10	10	0	1	74
		%	25.7%	5.4%	18.9%	9.5%	.0%	.0%	.0%	2.7%	1.4%	8.1%	13.5%	13.5%	.0%	1.4%	
	仕事が好き	度数	31	6	18	8	0	2	1	5	0	9	3	5	0	2	90
		%	34.4%	6.7%	20.0%	8.9%	.0%	2.2%	1.1%	5.6%	.0%	10.0%	3.3%	5.6%	.0%	2.2%	
	知識・技術・趣味を活かしたい	度数	37	3	31	8	1	3	1	4	0	8	6	4	0	0	106
		%	34.9%	2.8%	29.2%	7.5%	.9%	2.8%	.9%	3.8%	.0%	7.5%	5.7%	3.8%	.0%	.0%	
	経済的に自立したい	度数	19	1	19	8	0	0	0	4	1	3	7	5	1	2	70
		%	27.1%	1.4%	27.1%	11.4%	.0%	.0%	.0%	5.7%	1.4%	4.3%	10.0%	7.1%	1.4%	2.9%	
	家業	度数	4	3	1	1	1	0	0	0	0	2	1	5	0	0	18
		%	22.2%	16.7%	5.6%	5.6%	5.6%	.0%	.0%	.0%	.0%	11.1%	5.6%	27.8%	.0%	.0%	
	仕事を通じて友人を得たい	度数	10	1	3	2	0	1	0	0	0	3	2	0	0	0	22
		%	45.5%	4.5%	13.6%	9.1%	.0%	4.5%	.0%	.0%	.0%	13.6%	9.1%	.0%	.0%	.0%	
	育児が一段落	度数	24	1	7	4	1	0	0	2	0	2	6	1	0	1	49
		%	49.0%	2.0%	14.3%	8.2%	2.0%	.0%	.0%	4.1%	.0%	4.1%	12.2%	2.0%	.0%	2.0%	
	他にすることがない	度数	4	0	1	1	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	11
		%	36.4%	.0%	9.1%	9.1%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	9.1%	36.4%	.0%	.0%	.0%	
	その他	度数	2	1	2	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3	12
		%	16.7%	8.3%	16.7%	8.3%	.0%	.0%	8.3%	.0%	.0%	16.7%	.0%	.0%	.0%	25.0%	
合計		度数	126	15	75	36	4	4	2	18	2	27	34	23	1	7	374

この結果から分かるように、働く理由のいずれにおいても、最も重視したこととして「短大での専門分野との関連」と回答した割合が最も高い。一般的に、高等教育の大衆化と質の低下が問題とされている中で、短大生が就職先の選定において自らの専門分野との関連性を重視しているという事実は、短大が提供している専門教育の質の高さと見ることもできるだろう。

3. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大での学んだ専門分野と仕事との関連性

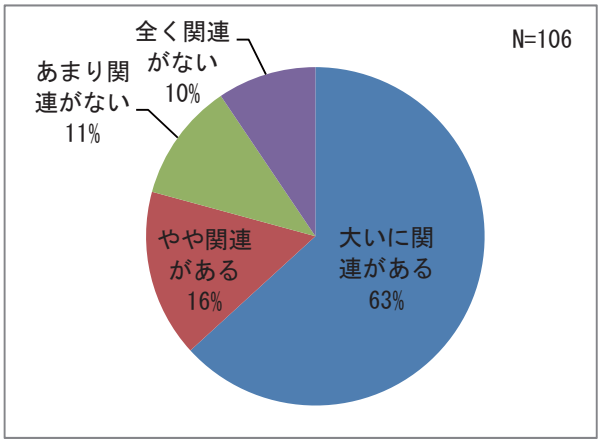


図 21：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の短大での学習と仕事との関連（単数回答）

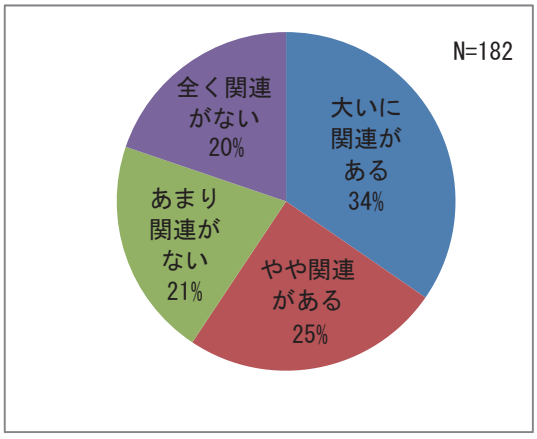


図 22：短大卒業直後の就職先から転職した人の短大での学習と仕事との関連（単数回答）

この結果から、転職後の職場においては、短大での専門分野との関連性が相対的に弱まっている傾向があるものの、半数以上の割合で短大での専門分野との関連性と一定の関連があると回答している。

4. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大での学んだことの有用性

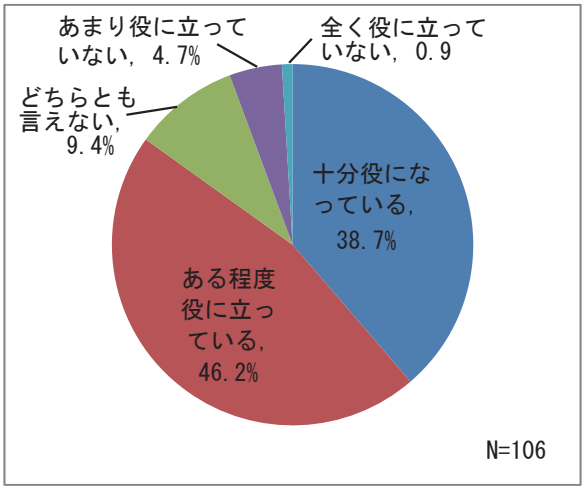


図 23:短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の短大で学んだことの有用性（単数回答）

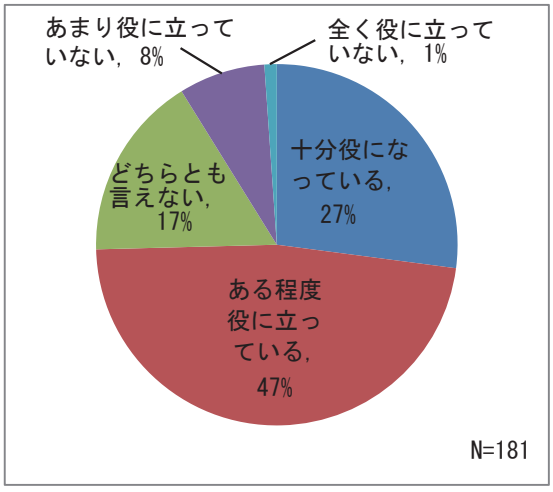


図 24：短大卒業直後の就職先から転職した人の短大で学んだことの有用性（単数回答）

前頁の分析結果と同様、転職と同時に現在の職業における短大での学習の有用性の重要度が低下しているものの、両者共に全体的には短大で学習した事柄が役に立っていると考えていることが分かる。

5. 働く理由と就職先決定において最も重視したこと

表 5：働く理由と志望就職先を決定するにあたって最も重視した理由

			志望就職先を決定するに当たって最も重視したこと														合計
			短大での専門分野との関連	業種	職種	地域条件	規模	知名度やイメージ	経営方針	安定性	将来性	仕事のやりがい度	勤務時間・給与・福利厚生等	正社員就職	社会・公共への貢献度	その他	
働く理由	自分自身の収入が欲しい	度数	57	6	38	17	2	3	2	10	1	15	24	14	0	1	190
		%	30.0%	3.2%	20.0%	8.9%	1.1%	1.6%	1.1%	5.3%	.5%	7.9%	12.6%	7.4%	.0%	.5%	
	家計の維持や補助に必要	度数	76	10	38	21	2	1	0	8	2	13	13	11	1	3	199
		%	38.2%	5.0%	19.1%	10.6%	1.0%	.5%	.0%	4.0%	1.0%	6.5%	6.5%	5.5%	.5%	1.5%	
	社会とのつながりを持ちたい	度数	50	4	30	10	2	2	1	7	0	9	13	4	1	2	135
		%	37.0%	3.0%	22.2%	7.4%	1.5%	1.5%	.7%	5.2%	.0%	6.7%	9.6%	3.0%	.7%	1.5%	
	仕事に就くのは当然	度数	19	4	14	7	0	0	0	2	1	6	10	10	0	1	74
		%	25.7%	5.4%	18.9%	9.5%	.0%	.0%	.0%	2.7%	1.4%	8.1%	13.5%	13.5%	.0%	1.4%	
	仕事が好き	度数	31	6	18	8	0	2	1	5	0	9	3	5	0	2	90
		%	34.4%	6.7%	20.0%	8.9%	.0%	2.2%	1.1%	5.6%	.0%	10.0%	3.3%	5.6%	.0%	2.2%	
	知識・技術・趣味を活かしたい	度数	37	3	31	8	1	3	1	4	0	8	6	4	0	0	106
		%	34.9%	2.8%	29.2%	7.5%	.9%	2.8%	.9%	3.8%	.0%	7.5%	5.7%	3.8%	.0%	.0%	
	経済的に自立したい	度数	19	1	19	8	0	0	0	4	1	3	7	5	1	2	70
		%	27.1%	1.4%	27.1%	11.4%	.0%	.0%	.0%	5.7%	1.4%	4.3%	10.0%	7.1%	1.4%	2.9%	
	家業	度数	4	3	1	1	1	0	0	0	0	2	1	5	0	0	18
		%	22.2%	16.7%	5.6%	5.6%	5.6%	.0%	.0%	.0%	.0%	11.1%	5.6%	27.8%	.0%	.0%	
	仕事を通じて友人を得たい	度数	10	1	3	2	0	1	0	0	0	3	2	0	0	0	22
		%	45.5%	4.5%	13.6%	9.1%	.0%	4.5%	.0%	.0%	.0%	13.6%	9.1%	.0%	.0%	.0%	
	育児が一段落	度数	24	1	7	4	1	0	0	2	0	2	6	1	0	1	49
		%	49.0%	2.0%	14.3%	8.2%	2.0%	.0%	.0%	4.1%	.0%	4.1%	12.2%	2.0%	.0%	2.0%	
	他にすることがない	度数	4	0	1	1	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	11
		%	36.4%	.0%	9.1%	9.1%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	9.1%	36.4%	.0%	.0%	.0%	
	その他	度数	2	1	2	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3	12
		%	16.7%	8.3%	16.7%	8.3%	.0%	.0%	8.3%	.0%	.0%	16.7%	.0%	.0%	.0%	25.0%	
合計		度数	126	15	75	36	4	4	2	18	2	27	34	23	1	7	374

この結果から分かるように、働く理由のいずれにおいても、最も重視したこととして「短大での専門分野との関連」と回答した割合が最も高い。一般的に、高等教育の大衆化と質の低下が問題とされている中で、短大生が就職先の選定において自らの専門分野との関連性を重視しているという事実は、短大が提供している専門教育の質の高さと見ることもできるだろう。

（5）就職後に感じる短大での経験

1. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と就活後に自分に不足していたと思う事柄

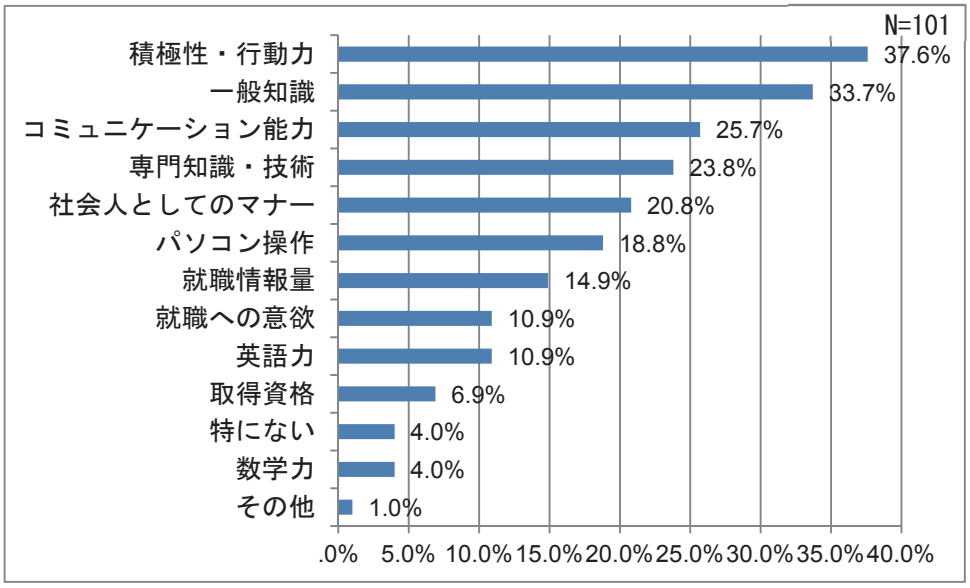


図 25：継続勤務している人の就活後に不足していたと思う点（3 選択までの複数回答）

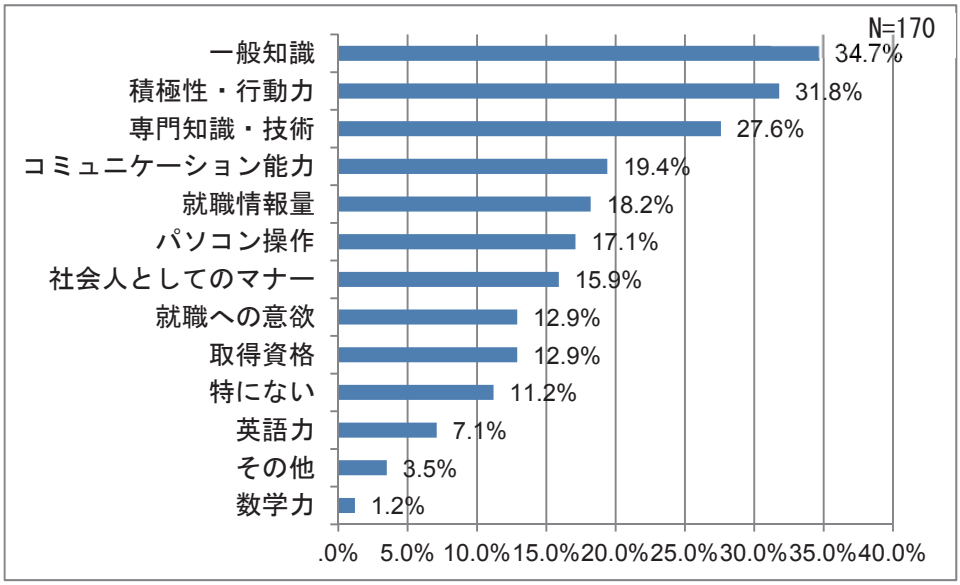


図 26：転職した人の就活後に不足していたと思う点（3 選択までの複数回答）

この結果から、短大卒業後の就職先に継続勤務している人、転職した人の両者ともに「積極性・行動力」・「一般知識」の不足を課題として挙げていることが分かる。特に、一般知識の不足については、その具体的な内容を把握することでキャリア教育へ反映させることはある程度可能である。

2.　短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大においてもっと身につけておくべきだと思うもの

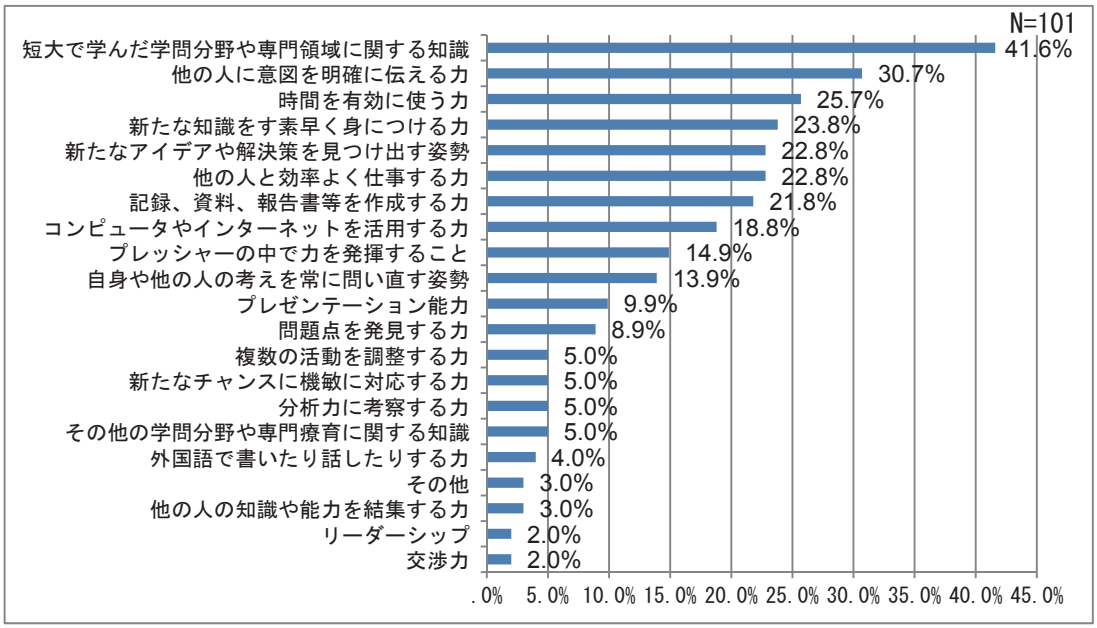


図 27：短大で身につけておくべきだったこと（継続勤務）（上位 3 選択の複数回答複数回答）

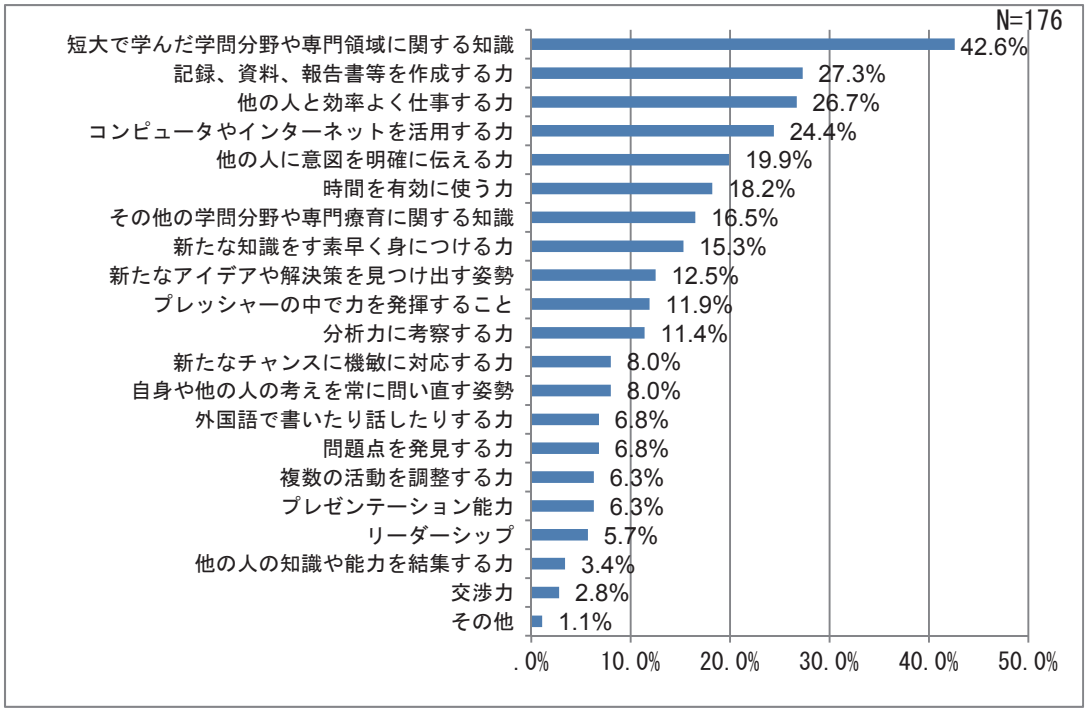


図 28：短大で身につけておくべきだったこと（転職者）（上位 3 選択の複数回答複数回答）

継続勤務の卒業生においても、転職した卒業生においても、短大で身に付けておくべきこととして「短大で学んだ学問分野や専門領域に関する知識」を 40%以上が回答している。ある程度は、短期大学在学時代に学習しているはずではあるが、やはり職場で即戦力となるほどには身に付いていないことを、現実として就職した際に感じるのであろう。続いて、継続勤務している卒業生からすると、「他の人に意図を明確に伝える力」、「時間を有効に使う力」が挙げられている。いわゆる前出のコミュニケーション能力と、タイムマネジメント能力である。転職した卒業生からすると、次いで挙げられるのが、「記録、資料、報告書等を作成する力」、「他の人と効率よく仕事をする力」が挙げられている。これらは、どのような職種においても必要となる一般的な実務能力であり、実学的な学習とともに実践によって身につく面が大きいものと言える。

3. 短大卒業直後の就職先からの転職の有無と短大への満足度

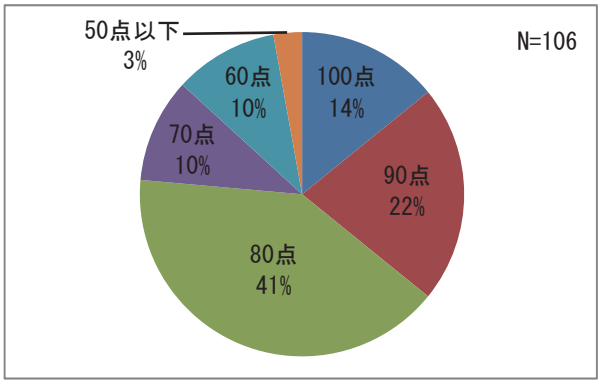


図 29：短大卒業直後の就職先に継続勤務している人の短大への満足度（単数回答）

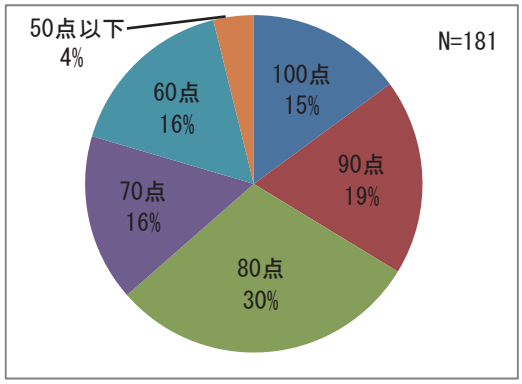


図 30：短大卒業直後の就職先から転職した人の短大への満足度（単数回答）

転職経験の有無を問わず、短大に対する卒業生の満足度はおおむね良好であると言える。

【今後のキャリア支援について】

現在の就職支援の転換方向性が、卒業生の感じるニーズ等にも対応していることから、評価に値するものであることが分かった。今後、さらに改善できる点としては、 1）一年次からのキャリア支援への一層の注力、2）日常的で最も相談する相手として保護者があげられることから、保護者と連携してのキャリア支援、3）就職支援の幅を広げ、キャリア支援として相談体制の充実と、その体制の更なる活用法の、検討する、4）「積極性」や「一般常識」「一般的な実務能力」を向上させることを意図したキャリア支援を行うといったことが考えられる。

資料　11－1

卒業生アンケート調査票

平成２２年　２月 吉 日

卒業生の皆さまへ

鹿児島女子短期大学
学長　辰　村　吉　康

卒業生アンケートについて（お願い）

拝啓　時下　卒業生の皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究に対しましては、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

本学では「高い教養と豊かな情操を培い、現代社会生活に即した、深い専門的知識と技術とを身につけた、心身ともに健康にして社会に役立つ実践的現代的女性を育成する」という教育方針のもと、地域に根ざした教育研究活動を展開しております。

この度、本学の「めざそう＜平成の篤姫＞！―鹿児島発社会人力養成プログラム―」が文部科学省の「学生支援推進プログラム」に採択されたのを受けて、卒業生の皆様にアンケート調査を実施することにいたしました。皆様からのご意見を基に、本学の学生支援体制の改善を図ることを目的としたものです。

お忙しいところご迷惑をおかけしますが、どうぞご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、本学は平成２１年４月に紫原から高麗町へ移転いたしました。新校舎の写真入り葉書を同封いたしましたので、どうぞお使いください。これを機会に新キャンパスへも是非おこしくださいますよう、併せてご案内申し上げます。

敬具

鹿児島女子短期大学卒業生アンケート調査

・**回答は、別紙【回答用紙】にお願いいたします。**
・本調査は、在学・卒業生へのキャリア教育におけるデータの収集、及び本学からの書類等送付のために住所を最新情報へ更新することを目的としています。個人情報保護法にそって利用しますので、その他の目的に利用することは一切ありません。
・本調査は、平成 17 年度発行同窓会「すみれ会」名簿記載住所、卒業時の保護者住所に送付しています。
・設問は問 1～問 41 まであります。問１より順番にご回答ください。なお、設問の内容によっては、次の回答先を（**→問○へ**）と指示しているものがありますので、その指示に従ってお進みください。
・回答の仕方には、選択肢の中から該当するものを選び、回答用紙に該当番号を記入していただくものと、具体的に回答内容を記述していただくものがあります。選択肢の場合は、設問の最後に選択する項目の数が（１つ）（２つまで）と示している場合があります。その指示に従ってご回答ください。
・回答に迷う場合には、最も近いものを選んでください。ただし、回答しづらいあるいは回答したくない設問については、空欄でも結構です。
・ご記入済みのアンケート回答用紙は、**２０１０年 ３ 月 ５ 日（金）**までに、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れてご投函ください。（**回答用紙のみご返送ください。**）
・本調査に関するお問い合わせ等は、お手数ですが、下記までお願いいたします。

〒890-8565　鹿児島県鹿児島市高麗町 6-9　鹿児島女子短期大学　学生支援課
（TEL　099-254-9194）

※以下の設問については、選択肢番号あるいは回答内容の記述を、別紙【回答用紙】に記入してください。

【Ⅰ】はじめに、あなた自身のことについて、お尋ねします。（差し支えない範囲でお答えください。）

(1) 卒 業 年 度：　(01)昭和　(02)平成　（　　）年３月卒業

(2) 所属学科専攻：

- **児童教育学科：**　(01) 初等教育学専攻　(02) 幼児教育学専攻
- **生活科学科：**　(03) 生活科学専攻　(04) 生活福祉専攻　(05) 食物栄養学専攻
  (06) 生活科学専攻生活科学コース　(07) 生活科学専攻養護課程（コース）
- **家政学科：**　(08) 家政（食物）学専攻　(09) 家政（養護）学専攻　(10) 被服学専攻
  (11) 家政学専攻食物課程　(12) 家政学専攻養護課程
- **教養学科：**　(13) 教養学科

(3) 卒業時の担任：

【Ⅱ】現在の仕事についてお尋ねします。

(4) あなたは現在、働いていますか。　(01)働いている　(02)働いていない　**→（問(14)へ）**

(5) 現在働いている企業・団体等の業種は何ですか。（１つ）

(01)農林水産業　(02)鉱業　(03)建設業　(04)製造業　(05)電気・ガス・熱供給・水道業
(06)情報通信業　(07)運輸業　(08)卸売・小売業　(09)金融・保険業　(10)不動産業
(11)飲食店、宿泊業　(12)医療、福祉（病院、保健所、福祉事務所、老人福祉・介護事業、保育所など）
(13)教育、学習支援業（幼稚園・小学校・中学校・高等学校、大学、図書館、学習塾、英会話など）
(14)サービス業（他に分類されないもの）（法律事務所 、経営コンサルタント業、旅行業、広告業など）
(15)公務（他に分類されないもの）（国の行政機関・司法機関、地方公共団体の行政機関など）
(16)複合サービス事業（協同組合など）　(17)その他（　　）

(6) 現在の職種は何ですか。（１つ）

(01)小学校教員　(02)中学校教員　(03)養護教員　(04)栄養教員　(05)司書・司書補　(06)幼稚園教諭
(07)保育士　(08)栄養士　(09)介護福祉士　(10)ホームヘルパー　(11)公務員
(12)事務的職業(民間企業、教育関係の教務・事務補佐等)　(13)販売的職業(民間企業の営業・販売職等)
(14)保安・サービス的職業(警察官、自衛官、美容師、グランドスタッフ等)　(15)営業職
(16)農林漁業従事　(17)製造業(工場、製品製造作業等)従事　(18)その他（　　）

(7) 現在の勤務先は、卒業直後に就職したところですか。　(01)はい　**→(問(10)へ)**　(02)いいえ

(8) 現在の勤務先は、何社目ですか。

(9) 現在の勤務先には、どのようにして就職しましたか。（１つ）

(01)短大の先生の紹介　(02)短大での友人・知人の紹介　(03)短大以外での友人・知人の紹介
(04)家族・親戚の紹介　(05)現在の勤め先の人からの勧誘　(06)前の勤め先からの紹介
(07)インターネット情報　(08)企業から送られてきたガイド　(09)新聞などの求人広告・就職専門誌
(10)ハローワーク・民間の職業紹介機関　(11)家業を継いだ(家業に入った)　(12)自分(たち)で起業した
(13)公務員試験などを受験　(14)いずれでもない(具体的に：　　)

(10) 現在の勤務形態は、何ですか。（１つ）

（正規社員）　(01)総合職　(02)専門職　(03)一般職　(04)公務員
（非正規社員）　(05)派遣社員　(06)契約社員　(07)パートタイム　(08)アルバイト
(09)自営　(10)その他（　　）

(11) 現在の職位はどれにあてはまりますか。（１つ）

(01)役職なし　(02)主任　(03)グループリーダー　(04)係長・係長補佐職
(05)課長・課長補佐職　(06)部長・部長補佐職　(07)その他（　　）

(12) 現在の仕事の勤続年数を記入してください。

(13) 仕事の相談は誰にしますか。（２つまで）

(01)上司　(02)先輩　(03)同期　(04)後輩　(05)会社以外の友人
(06)家族　(07)恩師　(08)相談しない

(14) 現在仕事に就いていない方、現在、主な活動は何ですか。（１つ）

(01)求職活動中　(02)育児・家事・介護を担当　(03) 学業(大学、その他)　(04)その他（　　）

【Ⅲ】「働くこと」についてお尋ねします。

(15) 働く理由について、差し支えない範囲でお答えください。　（３つまで）

(01)自分自身の収入が欲しいから　(02)家計の維持や補助に必要だから
(03)社会とのつながりを持ちたいから　(04)仕事につくことは当然だと思うから
(05)仕事をすることが好きだから　(06)知識、技術、趣味を活かしたいから
(07)経済的に自立したいから　(08)家業だから　(09)仕事を通じて友人を得たいから
(10)育児が一段落したから　(11)家族の介護や看病の必要がなくなったから
(12)他にすることがないから　(13)その他（　　）

(16) 働き方について、あなた自身はどう考えていますか。（１つ）

(01)結婚するまでは仕事を続ける　(02)子供ができるまでは仕事を続ける
(03)子供ができたら仕事を辞めるが、将来再就職をする
(04)結婚・出産にかかわらずずっと仕事を続ける　(05)できれば仕事をしたくない
(06)その他（　　）

(17) 会社選びのポイントは何が重要だと思いますか。(３つまで)

(01)やりたい仕事　(02)短大の専門・専攻を活かせる　(03)自分の能力を活かせる
(04)希望のコース(総合職など)　(05)やりがいがある　(06)国際的な仕事である　(07)男女差がない
(08)長く働ける　(09)給与・昇給が良い　(10)休日日数・勤務時間などの労働条件が良い
(11)安定した企業　(12)将来性のある企業・業種　(13)女性を活用する社風　(14)社会的貢献度が高い
(15)仕事のための施設・設備が良い　(16)通勤の便が良い　(17)住宅手当・寮などの条件が良い
(18)福利厚生が充実している　(19)有名で大手企業　(20)オフィスが市の中心にある
(21)母性保護の制度が充実している　(22)OG が多い　(23)OG の印象が良い　(24)縁故
(25)親の勧め　(26)就職課(学生支援課)の勧め　(27)先生の推薦
(28)結婚に有利／相手が見つかりそう　(29)なんとなく　(30)その他（　　）

【Ⅳ】短大卒業時の就職先についてお尋ねします。

(18) どのようにして就職しましたか。(１つ)

(01)短大の先生の紹介　(02)短大での友人・知人の紹介　(03)短大以外での友人・知人の紹介
(04)家族・親戚の紹介　(05)企業からの勧誘(リクルート)　(06)短大にある求人票・会社案内
(07)インターネット情報　(08)企業から送られてきたガイド　(09)新聞などの求人広告・求人情報誌
(10)ハローワーク・民間の職業紹介関係　(11)家業を継いだ(家業に入った)　(12)自分(たち)で起業した
(13)公務員試験などを受験　(14)いずれでもない(具体的に：　　)
(15)卒業時、仕事に就かなかった　**→(問(26)へ)**

(19) 勤務先の業種は何でしたか。(１つ)

(01)農林水産業　(02)鉱業　(03)建設業　(04)製造業　(05)電気・ガス・熱供給・水道業
(06)情報通信業　(07)運輸業　(08)卸売・小売業　(09)金融・保険業　(10)不動産業
(11)飲食店、宿泊業　(12)医療、福祉(病院、保健所、福祉事務所、老人福祉・介護事業、保育所など)
(13)教育、学習支援業(幼稚園・小学校・中学校・高等学校、大学、図書館、学習塾、英会話など)
(14)サービス業(他に分類されないもの)（法律事務所 、経営コンサルタント業、旅行業、広告業など)
(15)公務(他に分類されないもの)（国の行政機関・司法機関、地方公共団体の行政機関など)
(16)複合サービス事業(協同組合など)　(17)その他（　　）

(20) 職種は何でしたか。(１つ)

(01)小学校教員　(02)中学校教員　(03)養護教員　(04)栄養教員　(05)司書・司書補　(06)幼稚園教諭
(07)保育士　(08)栄養士　(09)介護福祉士　(10)ホームヘルパー　(11)公務員
(12)事務的職業(民間企業、教育関係の教務・事務補佐等)　(13)販売的職業(民間企業の営業・販売職等)
(14)保安・サービス的職業(警察官、自衛官、美容師、グランドスタッフ等)　(15)営業職
(16)農林漁業従事　(17)製造業(工場、製品製造作業等)従事　(18)その他（　　）

(21) 最初の就職先に現在も勤務していますか。(現在の仕事は、卒業時に就いた会社・団体・組織と同じですか。 出向や転勤などで異動している場合は同じとしてください。)

(01)勤務している　**→(問(27)へ)**　(02)勤務していない

(22) 卒業直後に就いた最初の仕事を辞めたのはいつですか。(１つ)

(01)１年目　(02)２年目　(03)３年目　(04)４年目以降（　　年目)

(23) 卒業時に就職した会社を辞めた理由を差し支えない範囲でお答えください。(３つまで)

(01)仕事内容が予想と違った　(02)会社の業務内容が予想と違った　(03)適性に疑問を持った
(04)労働時間での不満　(05)収入面での不満　(06)職場の人間関係　(07)結婚のため
(08)出産・育児のため　(09)家族のため（配偶者の転勤、介護など）　(10)家族の反対
(11)キャリアを積むのに限界があった　(12)期限付きの採用であった　(13)人員整理・倒産
(14)転勤のない職場で働きたい　(15)会社の成長力・将来性　(16)実力主義・能力主義の会社で働きたい
(17)専門性やスキルを高めたい　(18)勉学等キャリアステップアップのため　(19)その他（　　）

(24) 最初の就職後、自分に不足していたと感じた能力がありますか。(３つまで)

(01)企画力・創造力　(02)問題解決力・分析力　(03)判断力　(04)データ処理力・事務処理力
(05)ストレスコントロール力　(06)リーダーシップ　(07)協調性　(08)幅広い教養　(09)英語力
(10)プレゼンテーション力　(11)特にない　(12)その他（　　）

(25) その仕事を辞めた後、どうしましたか。(１つ)

(01)再就職してフルタイムで働いた
(02)再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた
(03)家業の手伝いをした　(04)再就職先を探したが見つからなかった　(05)その他（　　）

(26) [問(18)で「15.仕事に就かなかった」と答えた方]
短大卒業直後に収入を伴う仕事につかなかった理由は何ですか。(１つ)

(01)結婚をしたから　(02)家事手伝いや稽古事をしたから
(03)ボランティア、NPO・NGOなどの社会活動をしたから
(04)進学・就職の準備期間としたかったから　(05)希望の仕事につけなかったから
(06)就職する意志がなかったから　(07)自分の時間を持ちたかったから　(08)その他（　　）

【Ⅴ】在学時の就職活動について、お尋ねします。

(27) 志望就職先を決定するに当たって最も重視したことは何ですか。(１つ)

(01)短大での専門分野との関連　(02)業種　(03)職種　(04)地域条件(勤務地・転勤の有無など)
(05)規模　(06)知名度やイメージ　(07)経営方針　(08)安定性　(09)将来性
(10)仕事のやりがい度　(11)勤務時間・給与・福利厚生等　(12)正社員就職
(13)社会・公共への貢献度　(14)その他（　　）

(28) 就職活動時に参考にした情報源は何ですか。(３つまで)

(01)短大の就職情報資料　(02)就職情報誌　(03)新聞　(04)就職情報サイト(リクナビ等)
(05)インターネット情報　(06)就職指導教職員の助言　(07)先輩の助言
(08)会社案内のダイレクトメール　(09)就職活動をしなかった　(10)その他（　　）

(29) 短大の就職活動への支援は十分でしたか。(１つ)

(01)十分だった　(02)不足していたが、就職活動には問題はなかった
(03)不十分で、就職活動に苦労した　(04)支援は必要なかったし、求めなかった

(30) 大学で行った就職支援の中で重要と感じたものは何ですか。(３つまで)

(01)就職ガイダンス　(02)個人指導　(03)講座・講習会・模試の実施　(04)模擬面接
(05)求人情報の提供　(06)１年時からのキャリア(就職支援)教育　(07)就職指導を受けなかった
(08)その他（　　）

(31) 就職活動の悩みなどを友達、担任、学生支援課（旧就職課）等に相談しましたか。(１つ)

(01)かなり相談した　(02)相談した　(03)あまり相談しなかった　(04)全く相談しなかった

(32) 一番相談した相手は誰ですか。(１つ)

(01)担任　(02)就職担当教員　(03)その他の教員　(04)就職支援課長・課員　(05)友人
(06)先輩　(07)家族　(08)その他（　　）

(33) 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたものは何ですか。(３つまで)

(01)一般知識　(02)専門知識・技術　(03)取得資格　(04)コミュニケーション能力
(05)積極性・行動力　(06)就職への意欲　(07)就職情報量　(08)英語力　(09)数学力
(10)パソコン操作　(11)社会人としてのマナー　(12)特にない　(13)その他（　　）

【Ⅵ】「短大の教育」等についてお尋ねします。

(34) 短大での生活の満足度は 100 点満点中どのくらいでしたか。（１つ）

(01) 100 点　(02) 90 点　(03) 80 点　(04) 70 点　(05) 60 点　(06) 50 点以下

(35) 短大時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか。（１つ）

(01) 大いに関連がある　(02) やや関連がある　(03) あまり関連がない　(04) 全く関連がない

(36) 仕事や日常生活の中で、短大で学んだことや経験が役立っていると感じることはありますか。（1つ）

(01) 十分役にたっている　(02) ある程度役に立っている　(03) どちらともいえない
(04) あまり役に立っていない　(05) まったく役に立っていない

(37) 短大においてもっと身につけておくべきであると思うものについて番号を記入してください。
（上位３つまで）

(01) 短大で学んだ学問分野や専門領域に関する知識　(02) その他の学問分野や専門領域に関する知識
(03) 分析力に考察する力　(04) 新たな知識を素早く身につける力　(05) 交渉力
(06) プレッシャーの中で力を発揮すること　(07) 新たなチャンスに機敏に対応する力
(08) 複数の活動を調整する能力　(09) 時間を有効に使う力　(10) 他の人と効率よく仕事をする力
(11) 他の人の知識や能力を結集する力　(12) 他の人に意図を明確に伝える力　(13) リーダーシップ
(14) コンピュータやインターネットを活用する力　(15) 新たなアイディアや解決策を見つけ出す姿勢
(16) 問題点を発見する力　(17) 自身や他の人の考えを常に問い直す姿勢　(18) プレゼンテーション能力
(19) 記録、資料、報告書等を作成する力　(20) 外国語で書いたり話したりする力
(21) その他（　　）

(38) 学生時代にやっておけばよかったと思うこと、卒業後、社会に出てから
必要を感じて勉強したことがあれば挙げてください。

(39) 短大時代に受けた教育や大学・学生支援センター（旧就職課）について
のご感想・ご意見・ご要望がありましたら自由にお書き下さい。

(40) これから社会に出る後輩に、メッセージをお願いします。

(41) 短大の学生支援に関して、協力していただける事項を挙げてください。（いくつでも）

(01) 短大での就職ガイダンス・卒業生へのメッセージとして後輩への講話
(02) 会社訪問(OG 訪問)を希望する学生からの電話連絡
(03) 会社訪問(OG 訪問)を希望する学生からのメール連絡
(04) 就職活動に対する学生からの電話相談
(05) 就職活動に対する学生からのメール相談
(06) 会社概要・採用情報の学生からの資料請求
(07) その他協力いただけることを具体的にお書きください。

お忙しいところ、ご協力いただき、ありがとうございました。皆様の貴重なご意見は、よりよい大学づくりのための参考資料として活用させていただきます。今後とも、本学をよろしくご支援いただきますようお願い申し上げます。卒業生の皆さまの益々のご活躍とご多幸をお祈りいたします。

平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム　採択事業

めざそう「平成の篤姫」！　ー鹿児島発社会人力養成プログラムー 報告書

平成23年３月17日　印刷

平成23年３月23日　発行

発行者　鹿児島女子短期大学

〒890-8565

鹿児島市高麗町6-9

TEL　099-254-9191㈹

FAX　099-254-5914

印刷所　斯文堂株式会社